
会 告 ・ 通 知

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から 3 番目会告ページ入る)

————— 平成 25 年 4 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 4 月 11 日～4 月 26 日）	2
◇第二種研究会開催案内，発表募集案内	16
◇2013 年ソサイエティ大会講演募集案内予告	19
◇FIT 2013 第 12 回情報科学技術フォーラム講演募集案内	20
◇平成 25 年度春季先端オープン講座開講——御案内と受講者募集——	23
◇講演会・講習会・学術研究会等 ・本会が協賛等のもの	26
◇国際会議	27
◇受賞候補者募集等	28
◇求人欄	29
◇お知らせ ・電子情報通信学会創立記念日と事務について ・平成 25 年度会費お払込みのお願い ・転勤・転居及び学生員申請の届出について ・第 21 回衛星設計コンテスト ・平成 25 年 4 月号及び 5 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	31
◇論文特集原稿募集 ・Special Section on Recent Progress in Verified Numerical Computations（英文論文誌 NOLTA） ・音響学の発展を支える信号処理技術小特集（和文論文誌 A） ・ISMICT2013 関連医療・ヘルスケアにおける情報通信技術小特集（英文論文誌 B） ・超伝導大規模集積回路の最前線小特集（英文論文誌 C） ・集積回路設計技術に関する小特集（英文論文誌 C） ・知能ソフトウェア工学小特集（英文論文誌 D） ・データ工学と情報マネジメント特集（和文論文誌 D） ・データ工学と情報マネジメント小特集（英文論文誌 D）	32
◇通信ソサイエティマガジン年間購読申込みについて	38
◇IEICE Communications Express（ComEX）投稿案内	39
◇会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」購入申込みについて	40
♡各種証明，閲覧の手数料について	3
♡複写される方へ	27
♡新刊案内 ・電子情報通信レクチャーシリーズ [電子デバイス] ・現代電子情報通信選書「知識の森」シリーズ [画像入力とカメラ] [宇宙太陽発電] [電子システムの電磁ノイズ—評価と対策—]	15
♡総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	26

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 4 月 11 日～4 月 26 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
超 音 波	23 日(火) 13 : 30～17 : 05	電気通信大学・創立 80 周年記念会館	6
非 線 形 問 題	25 日(木) 26 日(金) (未定)	中京大学・名古屋キャンパス	10

4 月休会の研究会：回路とシステム，情報理論，信頼性，応用音響，VLSI 設計技術，情報セキュリティ，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，思考と言語，技術と社会・倫理，安全性，ITS，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
短 距 離 無 線 通 信	19 日(金) 9 : 30～16 : 50	機械振興会館	5
通 信 方 式 コミュニケーションクオリティ	18 日(木) 13 : 00～17 : 50 19 日(金) 9 : 00～14 : 40	佐渡島開発総合センター	8
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	25 日(木) 13 : 00～15 : 20 26 日(金) 9 : 45～11 : 25	宇宙航空研究開発機構・白田宇宙空間観測所	9
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	18 日(木) 15 : 10～18 : 45 19 日(金) 11 : 25～14 : 55	輪島商工会議所	10
ア ン テ ナ ・ 伝 播	18 日(木) 10 : 00～16 : 50 19 日(金) 9 : 45～12 : 00	関西学院大学・西宮上ヶ原キャンパス	11
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	18 日(木) 13 : 30～17 : 00 19 日(金) 10 : 00～14 : 30	京都府中小企業会館	11
環 境 電 磁 工 学	12 日(金) 11 : 00～17 : 00	岡山大学・津島キャンパス	12
無 線 通 信 シ ス テ ム	18 日(木) 10 : 20～17 : 45 19 日(金) 9 : 05～14 : 15	石垣市民会館	13

4 月休会の研究会：衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，フォトニックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，モバイルネットワークとアプリケーション，インターネットアーキテクチャ，ソフトウェア無線，知的環境とセンサネットワーク

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
集 積 回 路	11 日(木) 9 : 00～18 : 00 12 日(金) 8 : 30～16 : 45	産業技術総合研究所・つくばセンター	4
超 伝 導 エ レ ク ト ロ ニ ク ス マ イ ク ロ 波	19 日(金) 9 : 00～16 : 55	機械振興会館	5
マ イ ク ロ 波 ・ ミ リ 波 フ ォ ト ニ ク ス	26 日(金) 10 : 15～16 : 50	機械振興会館	6
電 子 デ バ イ ス	18 日(木) 13 : 00～16 : 45 19 日(金) 9 : 00～12 : 00	東北大学・電気通信研究所・片平北キャンパス	8
シ リ コ ン 材 料 ・ デ バ イ ス 有 機 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	25 日(木) 12 : 30～16 : 50 26 日(金) 9 : 10～16 : 50	屋久島環境文化村センター	14

4 月休会の研究会：機構デバイス，磁気記録・情報ストレージ，電子ディスプレイ，電子部品・材料，電磁界理論，光エレクトロニクス，レーザ・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
画像工学	26日(金)	13:30~16:40	中央大学・理工学部・後樂園キャンパス	7
コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング	26日(金)	13:00~17:30	首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス	7
コンピューテーション	24日(水)	10:00~17:20	神戸大学・工学研究科	12
今後の予定；ニューロコンピューティング (15 ページ)				
4 月休会の研究会；ME とバイオサイバネティックス，ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，言語理解とコミュニケーション，人工知能と知識処理，ソフトウェアサイエンス，データ工学，パターン認識・メディア理解，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，音声，教育工学，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

今後の予定；ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理 (15 ページ)				
4 月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎，福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

第1回超高速光エレクトロニクス研究会	4月13日(土)	東京農工大学・小金井キャンパス	16
無線電力伝送研究会 (WPT)	4月19日(金)	機械振興会館	5
エレクトロニクスシミュレーション・テラヘルツ 応用システムワークショップ	5月9日(木)	NTT 厚木研究開発センタ	16
第1回集積光デバイスと応用技術研究会	5月15日(水)	古河電気工業・横浜研究所	16
ネットワークシミュレーションスクール	5月15日(水)，16日(木)	総合研究大学院大学	17
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワーク ショップ (第46回)	6月17日(月)	東京工業大学・田町キャンパス	17

◇第二種研究会発表募集案内

アシュアランスシステム研究会	5月17日(金)	首都大学東京・秋葉原キャンパス	18
平成25年度第1回複雑コミュニケーションサイ エンス (CCS) 研究会	6月3日(月)，4日(火)	立命館大学びわこ・くさつ・キャンパス	18
第51回機能集積情報システム研究会	7月5日(金)	桐生市市民文化会館	19

——各種証明，閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では，各種の証明，閲覧について，下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお，突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので，必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は，TEL [03] 3433-6692

種類	内容	料金 (税込)	備考
証明手数料	特許証明	会員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊 (綴) ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は，非会員の料金となります。

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅
 幹事 松岡俊匡・竹内 健
 幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

日時 4月11日(木) 9:00~18:00
 12日(金) 8:30~16:45

会場 産業技術総合研究所つくばセンター中央第2事業所第6会議室(2-12棟)(つくば市東1-1-1中央第1.つくばエクスプレスつくば駅より産総研送迎バスで本部情報棟前下車,徒歩3分. http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/tsukuba_map_main.html TEL [029] 861-5068 大内真一)

議題 メモリ(DRAM, SRAM, フラッシュ, 新規メモリ)技術
 11日午前

1. [招待講演] 低熱伝導のナノ結晶材料を用いた低電力相変化デバイス ○森川貴博・秋田憲一・大柳孝純・北村匡史・木下勝治・田井光春・高浦則克(超低電圧デバイス技術研究組合)
2. [招待講演] STT-MRAMの特性改善に向けたダミーフリー層と2重トンネル接合を有する新しいMTJ ○角田浩司・能代英之・吉田親子・山崎裕一・高橋 厚・射場義久・畑田明良・中林正明・長永隆志・青木正樹・杉井寿博(超低電圧デバイス技術研究組合)
3. [招待講演] 非接触メモリーカードの待機電力削減のための誘導結合型ウェイクアップトランシーバ ○三浦典之(神戸大)・齋藤美都子・田口眞男・黒田忠広(慶大)
4. [招待講演] 書き換え1000万回超のReRAMを実現する微細フィラメント形成技術及びレベルベリファイ書込み方式 川原昭文・河合 賢・池田雄一郎・○加藤佳一・東 亮太郎・吉本裕平・田邊浩平・魏 志強・二宮健生・片山幸治・村岡俊作・姫野敦史・島川一彦・高木 剛・青野邦年(パソニック)

11日午後

5. [招待講演] Restructuring of Memory Hierarchy in Computing System with Spintronics-Based Technologies Tetstuo Endoh (Tohoku Univ.)
6. [依頼講演] 1 Mb 4 T-2 MTJ Nonvolatile STT-RAM for Embedded Memories Using 32b Fine-Grained Power Gating Technique with 1.0 ns/200 ps Wake-Up/Power-Off Times ○Tetsuo Endoh・T. Ohsawa・H. Koike (Tohoku Univ.)・S. Miura・H. Honjo・K. Tokutome (NEC)・S. Ikeda・T. Hanyu・H. Ohno (Tohoku Univ.)
7. [依頼講演] 4 T-2 MTJ セル構造に基づく不揮発 TCAM チップの実現 ○松永翔雲(東北大)・三浦貞彦・本庄弘明(NEC)・木下啓藏・池田正二・遠藤哲郎・大野英男・羽生貴弘(東北大)
8. [招待講演] 高性能モバイルCPUの低消費電力化を実現する垂直磁化STT-MRAMメモリテクノロジー 藤田 忍(東芝)
9. スピン論理集積回路における基本ゲートの高信頼化技術 ○辻 幸秀・根橋竜介・崎村 昇・本庄弘明・徳留圭一・三浦貞彦(NEC)・鈴木哲広(ルネサスエレクトロニクス)・深見俊輔・木下啓藏・羽生貴弘・遠藤哲郎・笠井直記・大野英男(東北大)・杉林直彦(NEC)
10. ゼロデータフラグを用いた低エネルギー STT-RAM キャッ

シユ ○木美雄太・鄭 晋旭・中田洋平・吉本雅彦・川口 博(神戸大)

11. [パネル討論] スマート社会におけるメモリソリューションの今後の展望—新不揮発メモリはSRAM/DRAM/フラッシュを置き換える?— 新居浩二(ルネサスエレクトロニクス)
- 12日午前
1. [招待講演] 相補型原子スイッチを用いたプログラマブルロジックでのRTL記述からの回路マッピング ○宮村 信・阪本利司・多田宗弘・伴野直樹・岡本浩一郎・井口憲幸・波田博光(超低電圧デバイス技術研究組合)
 2. [招待講演] 車載向け高速, 高信頼性 40 nm 混載 SG-MONOS フラッシュマクロの開発—160 MHz ランダムアクセス可能コード領域と 10 M 回書き換え可能データ領域の実現— ○小川大也・河野隆司・伊藤 孝・鶴田 環・西山崇之・長澤 勉・川嶋祥之・日高秀人・山内忠昭(ルネサスエレクトロニクス)
 3. [招待講演] 高信頼ビッグデータ向けフラッシュメモリ/ReRAM統合ソリッド・ステート・ストレージシステム ○田中丸周平(中大/東大)・土井雅史・竹内 健(中大)
 4. [依頼講演] SCM及びMLC NANDフラッシュメモリを用いたハイブリッドSSDと断片化防止アルゴリズムによる性能向上 ○宮地幸祐(中大)・藤井裕大(東大)・上口 光(中大)・樋口和英・孫 超(東大)・竹内 健(中大)
 5. [依頼講演] 3次元積層ReRAM/NANDフラッシュメモリハイブリッドソリッド・ステート・ドライブ向けVset/reset(3V), Vpgm(20V)生成回路の設計 ○畑中輝義(中大/東大)・上口 光・蜂谷尚悟・竹内 健(中大)
 6. [依頼講演] MLC相変化メモリとNANDフラッシュメモリを用いた三次元ハイブリッドSSDのための正負温度係数を有する読み出し参照源 ○宮地幸祐・上口 光(中大)・樋口和英(東大)・竹内 健(中大)
- 12日午後
7. [招待講演] ビット線電力計算回路とデジタルLDOを使用した2電源SRAMの消費電力削減スキーム ○静野観椰子・橘 文彦・平林 修・武山泰久・川澄 篤・樺田桂一・鈴木 東・仁木祐介・佐々木慎一・矢部友章・畝川康夫(東芝)
 8. [依頼講演] 統計手法を利用した超低電圧SRAM向けセンスアンプタイミング生成回路 ○川澄 篤・武山泰久・平林 修・樺田桂一・橘 文彦・仁木祐介・佐々木慎一・矢部友章(東芝)
 9. [依頼講演] 非選択カラムのビット線電荷を有効利用するためのチャージコレクタ回路を搭載した13.8 pJ/Access/Mbit SRAM ○森脇真一・山本安衛・宮野信治・篠原尋史(半導体理工学研究センター)・川澄 篤(東芝)・鈴木利一(半導体理工学研究センター)・桜井貴康(東大)
 10. [依頼講演] デジタル電流比較器制御によるSRAM待機電力の削減 ○前田徳章(ルネサスエレクトロニクス)・小松成亘(日立)・森本薫夫・田中浩二・塚本康正・新居浩二・島崎靖久(ルネサスエレクトロニクス)
 11. [依頼講演] 0.3 V マッチ線センスアンプを用いた250 MHz動作18 MビットTCAM ○林 勇・天野照彦・渡邊直也・矢野祐二・黒田泰人・白田真也・堂阪勝己・新居浩二・野田英行・河合浩行(ルネサスエレクトロニクス)
 12. マルチビットアップセット耐性を有するNMOS内側レリア

ウトを用いた 6T SRAM ○吉本秀輔・和泉慎太郎・

川口 博・吉本雅彦 (神戸大)

◎11 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 13 日 (月)~15 日 (水) 北九州国際会議場 テーマ:
LSI とシステムのワークショップ 2013

7 月 4 日 (木), 5 日 (金) サン・リフレ函館 [4 月 10 日
(水)] テーマ: アナログ, アナデジ混載, RF 及びセンサイ
ンタフェース回路

【問合先】

新居浩二 (ルネサスエレクトロニクス)

TEL [0727] 84-7423, FAX [0727] 84-7439

E-mail: koji.nii.uj@renesas.com

★短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 加藤正文・原田博司

幹事 田野 哲・溝口匡人 幹事補佐 沢田浩和・藍 洲

日時 4 月 19 日 (金) 9:30~16:50

会場 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室 (港区芝公園 3-5-8. 東
京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩 10 分, JR: 浜松町駅下
車徒歩 20 分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽
橋駅下車徒歩 10 分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 WLAN, WPAN 関連技術, 一般

1. [招待講演] センサシステムの将来展望 松井 明 (総務省)
2. 60 GHz 帯デスクトップ環境のための RX アレイアンテナによるスイッチングダイバーシチの提案 ○沢田浩和・加藤修三 (東北大)・梅比良正弘 (茨城大)・原田博司 (NICT)
3. 簡易な等化器と高利得誤り訂正を用いた 60 GHz 帯ビームトラッキング通信システムの提案 ○庄司勇輝・包 中尉・加藤修三 (東北大)
4. ミリ波用コヒーレント検出 FPGA プラットフォーム
○甲田泰照・大庭信之・中野大樹・高野光司・山根敏志・片山泰尚 (日本 IBM)
5. 920 MHz 帯における IEEE802.15.4k の干渉条件の 1 検討
○多田康崇・Baykas, Tuncer・加藤修三 (東北大)

午後

6. A Consideration on IEEE802.15.4k Synchronization
○Ith Vannsinh・Baykas, Tuncer・Kato Shuzo (Tohoku Univ.)
7. 2 層パッチアンテナを用いた 2.4 GHz 帯フェイズドアレイビームフォーミングアンテナ ○佐藤洋介・沢田浩和・加藤修三 (東北大)
8. 空間変調通信システムのための偏波切替/偏波識別平面機能アンテナ ○松雪恵之・西山英輔・豊田一彦 (佐賀大)
9. IEEE 802.11 無線 LAN におけるネットワーク連携型チャンネル割当法 ○B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・石原浩一・井上保彦・市川武男・溝口匡人 (NTT)
10. QPSK 変調を用いた物理層 XOR ネットワークコーディングにおける誤り制御法 ○田野 哲・前川美緒 (岡山大)・梅原大祐 (京都工繊大)
11. [パネル討論] ミリ波通信とその応用
○加藤修三 (東北大)・原田博司 (NICT)・高橋和晃 (パナソニック)・柴垣信彦 (日立)・小倉浩嗣 (東芝)

第一種研究会開催案内

☆SRW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 17 日 (月) 富士通 [4 月 12 日 (金)] テーマ: WPAN,
センサ関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 日高睦夫

幹事 山田隆宏・丸山道隆 幹事補佐 赤池宏之

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

★無線電力伝送研究会 (WPT) (第二種研究会)

専門委員長 藤野義之 副委員長 篠原真毅

幹事 袁 巧微・小紫公也 幹事補佐 三谷友彦・平山 裕

◎本研究会は SCE 研究会と MW 研究会は共催, WPT 研究会は併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 4 月 19 日 (金) 9:00~16:55

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室

議題 マイクロ波超伝導, マイクロ波一般

MW-1. 94 GHz 帯 NRD ガイドサプレッサの設計

○井上晋吾・久保遥平・黒木太司 (呉高専)

MW-2. $\lambda/4$ 共振器を用いた魚骨形トリプレートフィルタの設計

沖田靖能・○黒木太司 (呉高専)

MW-3. フロー有機合成反応に用いる共振器型マイクロ波照射装置の開発

○杉山順一 (産総研)・横澤早織・大根田訓之 (サイダ・FDS)・井川貴詞・江木正浩・赤井周司 (静岡県立大)

MW-4. 宇宙マイクロ波背景放射 (CMB) 観測のための超伝導マイクロ波力学インダクタンス検出器 (MKIDs) の開発

○大谷知行・美馬 覚・古賀健介・高橋研太・古川 昇 (理研)

MW-5. マイクロ波超伝導共振器を用いた高感度テラヘルツ波検出器の開発

○成瀬雅人・渡辺芳晴・布川裕真・田井野 徹・明連広昭 (埼玉大)

MW-6. 狭帯域送信フィルタ用超伝導共振器の開発

○塩川教次・河口民雄・中山浩平・山崎六月・加屋野博幸 (東芝)

午後 (12:45~)

SCE-7. スタブ装荷ヘアピン共振器を用いた超伝導デュアルバンド帯域通過フィルタ

○杉山俊輔・關谷尚人 (山梨大)・秋谷守紀・田中佑斗・黒田晃弘・齋藤 敦・大嶋重利 (山形大)

SCE-8. スパイラル共振器を用いたマイクロ波力学インダクタンス検出器アレイの設計と評価

○林 賢人・齊藤 敦・小川裕平・村田光茂・田中 希・澤田俊宏・中島健介・山田博信 (山形大)・有吉誠一郎 (名工大)・田井野 徹 (埼玉大)・大嶋重利 (山形大)

SCE-9. 700 MHz 用超伝導 NMR 検出コイルの試作

○及川慧志・田中佑斗・山田貴大・齊藤 敦・

大嶋重利 (山形大)

WPT-10. 火星飛行探査機へのマイクロ波無線電力供給用送電システムにおける方向検知の研究 ○岩清水 優・長濱章仁・三谷友彦・篠原真毅 (京大)・米本浩一 (九工大)

WPT-11. 磁場共振結合を用いた金属閉空間内への無線電力伝送 ○山川将人・水野嘉祐・石田 隼・小泉宏之・小紫公也 (東大)

WPT-12. 淡水・海水を介するワイヤレス給電の検討 ○澤原裕一・石崎俊雄 (龍谷大)・堀田昌志 (山口大)・栗井郁雄 (リュウテック)

WPT-13. Analysis of Near-Field Power Transfer Using Multi-Port Scattering Parameters ○Qiaowei Yuan (SNCT)・Mingda Wu・Qiang Chen (Tohoku Univ.)

WPT-14. 平行二線路を用いたワイヤレス電力伝送方式の提案 ○東野武史・馬 子驥・岡田 実 (奈良先端大)・辰田康明・後藤義和・鶴田義範・田中良平 (ダイハ)

☆SCE 研究会

【問合先】

赤池宏之 (名大)
TEL [052] 789-3324, FAX [052] 789-3160
E-mail : akaike@nuee.nagoya-u.ac.jp

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月30日(木), 31日(金) 龍谷大〔締切済〕 テーマ: マイクロ波一般

6月27日(木), 28日(金) 名工大〔4月7日(日)〕 テーマ: マイクロ波信号発生と計測技術/一般

7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター〔未定〕 テーマ: マイクロ波フォトニクス技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鴨田浩和 (ATR)
TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508
E-mail : kamoda@atr.jp
加屋野博幸 (東芝)
TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801
E-mail : hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

☆WPT 研究会

【問合先】

平山 裕 (名工大)
E-mail : wpt@mail.ieice.org

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎
幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 4月23日(火) 13:30~17:05

会場 電気通信大学創立80周年記念会館リサージュ3Fホール
(調布市調布ヶ丘1-5-1. 京王線: 調布駅下車北口より徒歩5分。
<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> TEL [042] 443-5166 野村英之)

議題 非線形音響, 一般

- リン酸中のソノルミネッセンスと気泡ダイナミクス
畑中信一 (電通大)
- ソノケミカル反応で生成したBaTiO₃ ナノ結晶の自発分極

○安井久一・加藤一実 (産総研)

3. 超音波照射時における壁面付着気泡の表面振動発生条件の検討—レーザドップラ振動計による観測— ○香川幸大・森岡俊一・吉田憲司・小山大介・渡辺好章 (同志社大)

4. 熱音響変換システムにおける変換素子の材質及び形状の影響 ○小塚晃透 (産総研)・坂本真一 (滋賀県立大)・安井久一 (産総研)

5. 80 MHz 及び 250 MHz の超音波顕微鏡による脂肪肝・線維症ラット肝臓の音響特性解析 ○井上健太 (千葉大)・Jonathan Mamou (Riverside R.)・小林和人 (本多電子)・西條芳文 (東北大)・山口 匡 (千葉大)

6. Rayleigh 型音響流の分岐について ○矢野 猛・西村章政・稲葉匡司 (阪大)

7. Nonlinear Tricomi Equation によるフォーカスブーム解析 ○金森正史・橋本 敦・青山剛史 (JAXA)

8. 強力空中超音波音場が光学振動計測に与える影響の実験的考察 ○大隅 歩・伊藤洋一 (日大)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会, 非線形音響研究会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月27日(月) 機械振興会館〔未定〕 テーマ: 一般

6月24日(月) 東大生研〔未定〕 テーマ: 医用超音波, アコースティックイメージング, 一般 (共催: 日本超音波医学会・基礎技術研究会, 日本音響学会アコースティックイメージング研究会)

7月 九大筑紫キャンパス〔未定〕 テーマ: 物性, 一般 (共催: 日本レオロジー学会ナノレオロジー研究会, 日本音響学会音響化学研究会, 音波と物性討論会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

美谷周二朗 (東大)
TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123
E-mail : mitani@iis.u-tokyo.ac.jp
三浦 光 (日大)
TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265
E-mail : miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 塚本勝俊 副委員長 黒川 悟
幹事 戸田裕之・川西哲也 幹事補佐 岩月勝美・東野武史

日時 4月26日(金) 10:15~16:50

会場 機械振興会館地下1階3号室

議題 ワイヤレスネットワークの最新動向, 一般

- 周波数領域型光コヒーレンストモグラフィを利用したテラヘルツイメージング ○池應敏行・五十川貴之 (阪大)・味戸克裕・久々津直哉 (NTT)・永妻忠夫 (阪大)
- 光変調器を用いたPD周波数特性測定における不確かさバジェットの計算 ○稲垣恵三・川西哲也 (NICT)・鈴木充隆・黒川 悟 (産総研)・及川陽一 (トリマテス)
- RoF-DAS over WDM-PON システムにおける無線セルサイズの一検討 岩國辰彦 (阪大)・塚本勝俊 (阪工大)・

宮本健司・田代隆義・寺田 純・深田陽一・桑野 茂・
可児淳一・吉本直人 (NTT)

4. [特別招待講演] 周波数及びエネルギー利用効率に優れたギガビット無線通信を実現する分散アンテナネットワーク

安達文幸 (東北大)

5. [招待講演] M2M クラウド向けワイヤレスセンサネットワーク

羽生 広 (日立)

6. [招待講演] クラウド連携セルラネットワークの展望

○阪口 啓・三瓶政一 (阪大)

7. [招待講演] コグニティブワイヤレスクラウドに関する研究開発と標準化動向

○村上 誉・原田博司 (NICT)

8. パネルディスカッション

☆MWP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター [未定]

テーマ: マイクロ波フォトニクス技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

関根徳彦 (NICT)・戸田裕之 (同志社大)

E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org

◎最新情報は, MWP 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~mwp/>

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久

幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 4月26日(金) 13:30~16:40

会場 中央大学理工学部後楽園キャンパス (文京区春日 1-13-27. 地下鉄: 後楽園駅/春日駅から徒歩5分. http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.html 久保田彰)

議題 画像処理・符号化及び一般

1. 焦点画像群の固有空間法による解析と自由焦点画像の生成

○矢倉 瞬・久保田 彰 (中大)

2. 非探索領域と ParticleFilter を用いた屋内シーンにおける人物追跡

○伊藤剛大・久保田 彰 (中大)

3. 3D 写真ビューアの設計 祢津孔二

4. DCT 係数のスパース性と圧縮歪みの最適化の一検討

○伊藤一樹・石田淳一・久保田 彰 (中大)

5. モルフォロジカルパターンスペクトラムを用いた画像改ざん検知手法の提案

○竹田知弘・塚田靖司・熊木武志・

小倉 武・藤野 毅 (立命館大)

6. エネルギー保存を考慮した画素値分布推定法

○山内 仁・尾崎公一・佐藤洋一郎・福田忠生・小武内清貴 (岡山県立大)

7. 予測誤差評価基準に予測誤差平方和 (PSS) を用いる多層構造型 GMDH-type ニューラルネットワークとその肝臓癌の医用画像診断への応用

○近藤 正・上野淳二・

高尾正一郎 (徳島大)

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月24日(金), 25日(土) 愛知工大 [締切済] テーマ: 医

用画像の計測・認識・理解, 少子高齢化社会の課題

【問合先】

久保田 彰 (中大)

E-mail: ie-kanji2012@mail.ieice.org

第一種研究会開催案内

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努

幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 4月26日(金) 13:00~17:30

会場 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス (千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 12階 1202室. JR: 秋葉原駅, 電気街口徒歩1分, 日比谷線: 秋葉原駅徒歩5分, 銀座線: 末広町駅徒歩5分, つくばエクスプレス: 秋葉原駅徒歩3分. TEL [03] 5294-0250 福本 聡)

議題 ディペンダブルコンピューティングシステム及び一般

1. デジタル・パワー制御の高信頼化に関する試み

○サイサソソカム アロムハック・今井健太・新井雅之・
福本 聡・和田圭二 (首都大東京)

2. Stateful NMR に基づく RAID1 上原 稔 (東洋大)

3. FPGA を用いた実時間動画画像手ブレ補正システムの構築

○丸山裕士・矢葺 徹・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)

4. 低電力アクセラレータ CMA のアプリケーションプログラム生成ツールの提案

○小崎信明・宇野理恵・天野英晴 (慶大)

5. [招待講演] 調整中 講演者調整中

6. パラメータ値に対する重み付けを考慮したテストケース集合の拡張

○藤本 哲・小島英春・土屋達弘 (阪大)

7. 3D 流体解析用 FPGA システムの構築

○藤浪健太・

杉浦 彰・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)

8. 隣接テスト機構を用いたオンチップ遅延測定法

加藤健太郎 (鶴岡高専)

9. 複数ホストリンクを用いた NoC 向け低遅延トポロジ

○河野隆太 (慶大)・藤原一毅 (NII)・松谷宏紀・

天野英晴 (慶大)・鯉淵道紘 (NII)

◆再生可能集積システム時限研究専門委員会 (RIS) 協賛

☆CPSY 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月13日(月)~15日(水) 北九州国際会議場 テーマ:

LSI とシステムのワークショップ 2013

【問合先】

安里 彰 (富士通)

TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214

E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月13日(月)~15日(水) 北九州国際会議場 テーマ:

LSI とシステムのワークショップ 2013

【問合先】

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)

E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

日時 4月18日(木) 13:00~16:45
19日(金) 9:00~12:00

会場 東北大学電気通信研究所片平北キャンパスナノ・スピコン
総合研究棟4階カンファレンスルーム(仙台市青葉区片平2-1-

1. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml>)

議題 有機デバイス・酸化物デバイス・一般

18日

1. 陽極酸化 TiO₂ ナノチューブ膜を用いた前面照射型色素増感太陽電池の特性に与える TiCl₄ 処理の効果 ○小島領太・木村康男・庭野道夫(東北大)

2. 劣化抑制法を用いた色素増感太陽電池の発電特性 ○伊藤瑛基・庄司優樹・鈴木貴彦・廣瀬文彦(山形大)

3. バルクヘテロ有機太陽電池の分子ドーピング効果 ○宮下祐太・丹野優樹・初山克章・鹿又健作・吉田一樹・廣瀬文彦(山形大)

4. PEDOT:PSS ヘテロ接合太陽電池の試作と評価 ○武田秀弥・金子 翔・大山直樹・廣瀬文彦(山形大)

5. 有機太陽電池用多層反射防止膜の試作と評価 ○永瀬拓人・鹿又健作・鈴木貴彦・久保田 繁・廣瀬文彦(山形大)

6. Infrared spectroscopic study on modification process of titania surface and its application to hybrid solar cells ○Ma Teng・Zhang Jinyu・Daisuke Tadaki・Yasuo Kimura・Michio Niwano(Tohoku Univ.)

7. [招待講演] 高分子有機トランジスタの高性能化技術 ○林 靖彦(岡山大)・物種孝政(名工大)・金原正幸(岡山大)・曾我哲夫(名工大)

8. [招待講演] UV ナノインプリントによって形成したナノチャンネル FIELO 法による低転位 GaN テンプレート基板作製の研究 ○水野 潤・岡田愛姫子・庄子習一(早大)・山口敦史(金沢工大)・後藤裕輝・砂川晴夫・松枝敏晴(古河機金)・篠原秀敏・西原浩巳・後藤博史(東芝機械)・碓井 彰(古河機金)

9. 有機 PVDF フィルムを用いた圧電式水素ガスセンサの開発 ○今井裕司(仙台高専)・飯野祥平・中山貴裕・但木大介・木村康男・庭野道夫(東北大)

19日

1. 電極変化に対する有機強誘電体キャパシタの抗電界の変化 ○小林拓磨・福田憲二郎・熊木大介・時任静士(山形大)

2. 撥液レジストを用いた銀ナノ粒子電極の微細パターン形成 ○菅野 亮・竹田泰典・小林 悠・福田憲二郎・熊木大介・時任静士(山形大)

3. P3HT 膜の電界効果移動度に及ぼす熱処理過程の影響 ○飯野祥平・但木大介・馬 騰・張 普逾・木村康男・庭野道夫(東北大)

4. 電気化学的手法を用いた金属微粒子の堆積 ○木村康男・エル ファシ メディ・宮 孝明・庭野道夫(東北大)

5. かご状タンパク質を利用した分子スケール接合制御による CNT 薄膜の熱電特性の向上 ○伊藤光洋・戸松康行・松原亮介・岡本尚文・山下一郎・中村雅一(奈良先端大)

6. フレキシブル・ソフトマテリアル上の室温シリカコーティング

グ ○鹿又健作・鈴木貴彦・久保田 繁・廣瀬文彦(山形大)
7. Ar 雰囲気下高温アニールによる 4H-SiC(0001)面上高品質エピタキシャルグラフェン形成 船窪一智(東北大)

☆ED 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月16日(木), 17日(金) 静岡大(浜松) [未定] テーマ: 結晶成長, 評価及びデバイス(化合物, Si, SiGe, 電子・光材料)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

須原理彦(首都大東京)

TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756

E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三(パナソニック)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲

幹事 小崎成治・梅原大祐

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎

幹事 布目敏郎・岡本 淳 幹事補佐 立花篤男

◎本研究会は CS 研究会と CQ 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 4月18日(木) 13:00~17:50

19日(金) 9:00~14:40

会場 佐渡島開発総合センター 2F 会議室(佐渡市両津湊 198. 佐渡汽船旅客ターミナルから徒歩 5 分。 <http://www.doko.jp/search/shop/sc71005405/> TEL [0259] 27-2119 (会場) 岡本 淳(NTT)・宮北和之(新潟大)

議題 SDN (Software-Defined Network), クラウド, ネットワーク仮想化, サービス品質, コンテンツ配信, 一般

18日

CS-1. 二重化されたイーサネットの無瞬間切り替え方式

○坂上佑介・谷口幸子・川手竜介(三菱電機)

CS-2. 超高速スケジューリングアーキテクチャの提案

○西村和人・北田敦史・朝永 博(富士通研)・

野口 勉(富士通九州)

CQ-3. ユーザ属性の違いがビデオ出力方式 SCS のリモコン型閾値選択インタフェース QoE に及ぼす影響 ○豊崎 聖・

布目敏郎・田坂修二・横井友洋(名工大)

CQ-4. 高精細マルチ映像伝送を利用した遠隔協調作業環境と映像制作への応用 ○持田康弘・白井大介・北端美紀・

金 順暎・藤井竜也(NTT)・菅 健太・太田直久(慶大)

CQ-5. Energy-aware Multi-view Video Streaming over Wireless Networks ○Zhi Liu・Jingyun Feng・

Yusheng Ji (SOKENDAI)・

Yongbing Zhang (Univ. of Tsukuba)

共通-6. [特別招待講演] 転送エネルギー最適化コンテンツ配信

システム Energy Efficient and Enhanced-type Data Centric Network (E3-DCN) とそれを支える仮想化技術—ネットワーク仮想化, スマート (フットリク/エネルギー) ネットワーク—

○山中直明・岡本 聡・渋谷直彦・張 善明・岡野拓朗 (慶大)・栗本 崇 (NTT)

共通-7. [特別招待講演] 統計的機械学習技術による潜在構造の発見 山田武士 (NTT)

共通-8. [招待講演] 佐渡島でのトキの野生復帰と再導入への展望 永田尚志 (新潟大)

19 日午前

CQ-1. ユーザ協調型ネットワーク監視スキームにおける計測パス選択手法 ○立花篤男・阿野茂浩 (KDDI 研)・鶴 正人 (九工大)

CQ-2. SDN 制御プラットフォームにおけるネットワーク抽象化モデルの検討とその評価 ○小出俊夫・芦田優太・下西英之 (NEC)

CQ-3. OESS を用いた OpenFlow テストベッド RISE のドメイン間接続システムについて ○石井秀治・河合栄治・高田智明 (NICT)・金海好彦・齋藤修一 (NEC)・小林和真 (倉敷芸術科学大)・下條真司 (阪大)

CQ-4. ネットワーク仮想化基盤における資源分離のための階層化資源管理制御方式 ○片山陽平・山田一久・島野勝弘 (NTT)・中尾彰宏 (東大)

CS-5. 体感品質を考慮したネットワーク設計指標に関する検討 ○新井田 統・福元徳広・阿野茂浩 (KDDI 研)

CS-6. 高温下における温度・湿度センシングのための保水制御システム ○辻岡哲夫・伊與田浩志・大森雅仁・山形純子 (阪市大)

19 日午後

CQ-7. 災害時の物資輸送と情報伝達の関係の解析 ○大谷優太・宮北和之・中野敬介 (新潟大)

CQ-8. A MAC protocol to improve QoS in VANETs using position information ○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

CQ-9. モバイルアプリケーションの品質要因考察 ○中村天真・山本浩司・本多泰理・高橋 玲 (NTT)

CQ-10. スマートフォンによるアプリケーション品質のフィールド測定 ○遠藤直人・青木仁志・野尻秀樹・高橋 玲 (NTT)

◎18 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

◎講演会場, 懇親会, 宿泊 (特別割引) の情報は, <http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/201304/information.pdf> を御覧下さい。

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 4 日 (木), 5 日 (金) 与那国島 [未定] テーマ: 次世代ネットワーク, アクセスネットワーク, ブロードバンドアクセス方式, 電力線通信, 無線通信方式, 符号化方式, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小崎成治 (三菱電機)

TEL [03] 3218-6305, FAX [03] 3218-6454

梅原大祐 (京都工繊大)

E-mail : kanji2012@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

☆CQ 研究会

【問合先】

第一種研究会開催案内

布目敏郎 (名工大)

TEL & FAX [052] 735-7785

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

E-mail : cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 4 月 25 日 (木) 13:00~15:20

26 日 (金) 9:45~11:25

会場 宇宙航空研究開発機構白田宇宙空間観測所会議室 (佐久市上小田切大曲 1831-6. JR 小海線: 白田駅下車, タクシー約 30 分. http://www.jaxa.jp/about/centers/udsc/traffic_j.html TEL [0267] 81-1230 上野国樹)

議題 宇宙科学ミッション・衛星技術, 及び一般

25 日

1. GaN パワーアンプを搭載した超小型衛星用 X-band 高速ダウンリンク送信機の評価 ○深見友也・渡邊宏弥 (東大)・富木淳史 (JAXA)・岩切直彦 (東大)・齋藤宏文 (JAXA)・中須賀真一 (東大)

2. X-band 超小型衛星用 GaN パワーアンプの 2 stage PSB モデル化と高速ダウンリンク通信のシステム特性 ○岩切直彦 (東大)・齋藤宏文 (JAXA)・中須賀真一 (東大)

3. 搭載用 S 帯 SSPA の開発 ○栗野穰太・中台光洋・谷島正信 (JAXA)・川畑猛史 (三菱電機特機システム)

4. 多重仮説フレーム選択型 MLPDA による高誤警報環境下での航跡抽出 ○森 正憲・松崎貴史・亀田洋志・梅澤 徹 (三菱電機)

5. 火星探査航空機用レーダ高度計の実現性 ○米村 翔 (東京電機大)・富木淳史・戸田知朗 (JAXA)・小林岳彦 (東京電機大)

26 日

1. 観測ロケット搭載 GPS 受信機による測位実験 ○福島洋介・田中孝治 (JAXA)・海老沼拓史 (東大)・山田和彦・水野貴秀 (JAXA)

2. 太陽発電衛星の無線送電技術実証を目的としたブレードボードモデルの開発 ○牧 謙一郎 (JAXA)・井上史也・高橋将司 (東京理科大)・田中孝治・佐々木 進・川原康介 (JAXA)

3. Surface exploration robotics system of MINERVA-II onboard Hayabusa-2 asteroid mission ○Tetsuo Yoshimitsu・Takashi Kubota・Atsushi Tomiki (JAXA)・Tadashi Adachi (Seccia Techno)

4. 次期赤外天文衛星 (SPICA) ミッションにおける電磁環境両立性 ○富木淳史・久木田明夫・磯部直樹 (JAXA)・土井靖生 (東大)・小林岳彦 (東京電機大)・村上 浩・松原英雄・中川貴雄 (JAXA)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎白田駅から白田宇宙空間観測所までのタクシー代は約 6,000 円です。白田駅でタクシーに相乗りして行くことを考えておりますので, 相乗り希望の方は幹事まで御連絡下さい。また, 25

日研究会終了後に白田局の見学(約1時間)と懇親会を予定していますので御参加下さい。

【問合先】

富木淳史 (JAXA)
TEL [050] 3362-6575
E-mail : tomiki.atsushi@jaxa.jp
灘井章嗣 (NICT)
TEL [042] 327-6496
E-mail : nandai@nict.go.jp

——東海支部における開催——

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹
幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 4月25日(木), 26日(金)

会場 中京大学名古屋キャンパス

議題 一般

◎開催プログラムはNLP研究会のHP等を御参照下さい。

——北陸支部における開催——

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳
幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

日時 4月18日(木) 15:10~18:45

19日(金) 11:25~14:55

会場 輪島商工会議所(輪島市河井町20-1-1。能登空港から乗合タクシーで30分。http://wajimanavi.lg.jp/www/access/index.jsp)

議題 トラヒック, NW 評価, 性能, リソース管理・制御, トラヒックエンジニアリング, NW 信頼性・レジリエンス, 一般

18日(15:10~16:50)

1. 圧縮センシングを用いたネットワークトモグラフィによる低品質リンク検出手法 ○竹本和史・松田崇弘・滝根哲哉(阪大)

2. 制限時間付き大容量ファイルダウンロードのための帯域スケジューリング方式 ○勝元 健・木下和彦(阪大)・山井成良(岡山大)・村上孝三(阪大)

3. 高帯域ストリーミング配信のためのスイッチ内レイテンシの可視化 ○須賀祐太郎・寺岡文男・金子晋丈(慶大)

4. ツリー上に多数のデータ源を配備する多対多共有マルチキャストツリー構築法 ○張 善明・竹下秀俊(慶大)・栗本 崇(NTT)・岡本 聡・山中直明(慶大)

5. [招待講演] データ放送とフレックスマルチキャストの連携による「リモコン簡単申込」実証実験報告 久保 敦・

○市菌貴宏(RKB 毎日放送)・杉本晋司(NTT 西日本)

19日午前(11:25~12:40)

1. [奨励講演] エッジクラウド実現に向けた仮想機能再配置アルゴリズムの提案 ○望月このみ・山崎裕史・三澤 明(NTT)

2. 中継装置を利用したバス型ネットワークの冗長化システムの

評価

○飯田隆義・橋本昌典・安藤康臣・北市隆一(三菱電機)

3. 生物ネットワークの縮退特性に基づくシステム冗長化方式における自律的障害回復手法 ○長谷川 剛・村田正幸(阪大)

19日午後(13:40~)

4. 6LoWPAN/RPL スマートメータリング用経路制御におけるセンサネットワーク長寿命化のための中継ノード選択方式

○齊藤真人・阪田史郎(千葉大)

5. 無線リソース消費を考慮した移動端末の状態遷移制御方式

○岩井孝法・清水雅純・吉田裕志・吉川隆士(NEC)

6. 分散データベースにおけるデータ集約方法に関する一検討

○近藤 悟・金子雅志・福元 健(NTT)

◎18日13:00~15:00, 17:00~18:00, 19日9:15~11:15にNWS研究会を開催します。プログラムについては以下を御覧下さい。

http://www.ieice.org/~nws/1st_program.html

◎18日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆NS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月16日(木), 17日(金) 総研大[締切済] テーマ: 高度プロトコル・ネットワークング技術(IP及び高レイヤルーティング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御, IPNW の利用技術(P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術(システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

6月20日(木), 21日(金) 日大工学部(郡山) [4月11日(木)] テーマ: コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, 光制御(波長変換・スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ(OXC), 光分岐挿入多重(OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月17日(水)~19日(金) アクティシティ浜松 [5月6日(月)] テーマ: 無線分散ネットワーク及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

【問合先】

NS研究会幹事及び幹事補佐

E-mail : ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典(NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇(NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 4月18日(木) 10:00~16:50
19日(金) 9:45~12:00

会場 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス関西学院会館翼の間
(西宮市上ヶ原一番町1-155. 阪急電鉄今津線:甲東園駅または仁川駅から徒歩12分. http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html TEL (0798) 54-6013 (会場) 多賀登喜雄)

議題

18日午前

- 狭小エリアにおける伝搬損失の推定 ○林 昌孝・石田真将・須郷剛裕・前山利幸(拓殖大)
- 市街地道路におけるITS歩車間通信用パス遮蔽モデルの一検討 ○西井大樹・多賀登喜雄(関西学院大)
- 伝送路結合により間引き給電した印刷ダイポールアレーの提案 ○柴田国明・細野裕行・三枝健二・高野 忠(日大)
- ホーンアンテナに装荷する広角照射のための誘電体レンズ 大森章弘・出口博之・辻 幹男・○大林郁巳(同志社大)

18日午後

- 見通し内4x4MIMO伝送に適したアンテナ配置の提案 ○佐々木 毅・西森健太郎・堅岡良知・牧野秀夫(新潟大)
- 可変指向性アンテナを用いた位置指紋方式による端末位置推定の性能評価 ○大谷真由・岩井誠人・笹岡秀一(同志社大)
- バッテリーレスセンサを用いたマルチポイント型無線電力伝送の実験検証 ○前原大樹(東工大)・赤井亮太・阪口 啓・三瓶政一(阪大)・荒木純道(東工大)・岩井 浩(パソナック)
- 高いRF-DC変換効率を実現するレクテナアレーの不等間隔配置法 ○山口 聡・高橋 徹・本間幸洋・佐々木拓郎・小西善彦(三菱電機)

チュートリアル講演

- [チュートリアル講演] 無線電力伝送のためのアンテナ技術—フリスを超えて— 篠原真毅(京大)

IEEE AP-S Kansai Chapter 特別講演

- [特別講演] 気象用フェーズドアレイレーダの研究開発(口頭発表) 牛尾知雄(阪大)

19日

- Optimal Design of Vertical U-shaped Folded Dipole Antenna for WiMAX and Evaluation of Its Requisite Design Area on a Ground Plane ○Tuan Hung Nguyen・Hisashi Morishita(National Defense Academy)・Yoshio Koyanagi(Panasonic Mobile Communications)・Kazuhiro Izui・Shinji Nishiwaki(Kyoto Univ.)
- 移動体端末用7周波モノポールアンテナ 植村孝嗣・○橋本典明・前田忠彦(立命館大)
- 屋内伝搬環境における指向性×空間MIMOアンテナの実験的性能評価 多賀登喜雄(関西学院大)
- 乳癌の発見を目的とした損失性媒質内装型キャビティバックアンテナを用いた医療レーダイメージング 宮脇和敬・○戸田純一・小森史哲・中島見介・前田忠彦(立命館大)
- ダイヤモンド型プローブを用いた簡易人体頭部埋め込み固体眼球ファントム内部電界強度分布測定 ○高木 学・豊田雄介・小森史哲・前田忠彦(立命館大)

◆IEEE AP-S Kansai Chapter 共催

○18日研究会終了後、懇親会を予定していますので奮って御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月16日(木), 17日(金) 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ〔締切済〕 テーマ:一般

5月31日(金) 松山市総合コミュニティセンター〔4月10日(水)〕 テーマ:無線設備・アンテナシステム測定技術(第二種研究会)

6月13日(木) 機械振興会館〔4月10日(水)〕 テーマ:電波伝搬, 一般

7月25日(木), 26日(金) サン・リフレ函館〔5月10日(金)〕 テーマ:衛星通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

高橋 徹(三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

日時 4月18日(木) 13:30~17:00
19日(金) 10:00~14:30

会場 京都府中小企業会館(京都市右京区西院東中水町17. JR京都駅より市バス「西大路花屋町」下車, 徒歩1分. 阪急西院駅より市バス「西大路五条」下車, 徒歩1分. JR丹波口駅より徒歩約13分. <http://www.chusyo-kaikan.jp/access.htm>)

議題 ホームネットワーク, グリーン・省電力ICT, スマートグリッド, 省エネルギー, 障害対策・BCP, データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般

18日

- Study of Renewable Energy for Smart House with Battery Storage ○Umer Saher・Yasuo Tan・Lim Azman Osman(JAIST)
- Study of Temperature Control in Cyber-physical Home System Environment ○Cheng Zhuo・Yasuo Tan・Lim Azman Osman(JAIST)
- WLAN環境におけるアクセスポイントを用いたMAC改造端末に対する制御方式 世良勇樹・○小畑博靖(広島市大)・村瀬 勉(NEC)・石田賢治(広島市大)
- データセンタにおけるエネルギー最適化システム構成法の検討 ○浦田穰司・菅原昌久(NTT)
- [招待講演] 携帯電話基地局におけるグリーンエネルギーの利用 今成浩巳(KDDI研)
- [招待講演] ソーシャルメディアにおける位置情報を利用した行動分析技術の御紹介 中原史貴(NEC)

19日午前

- RPLによるサービスネットワーク多重化のための通信タイミング制御手法の提案と評価 ○進藤亜湖・若宮直紀(阪大)
- Implementation of Proactive Distributed Authentication Framework over Regional Network ○Ruidong Li・Kazuyuki Morioka・Yasunori Owada・Masaaki Ohnishi・Hiroaki Harai(NICT)

3. 無線メッシュネットワークにおける安定経路選択手法の評価
○川島祐毅・石橋孝一・曾我部靖志 (三菱電機)
4. Measuring Available Bandwidth for Path Selection of Tor Network
○Kale Timothy Girry・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

19日午後

5. [招待講演] データセンターに適したネットワーク構造
○大下裕一・村田正幸 (阪大)
6. [招待講演] スマートグリッド/スマートコミュニティへの取組み
齊藤 健 (東芝)

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 5月16日(木), 17日(金) 機械振興会館〔締切済〕
テーマ:ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般
- 6月20日(木), 21日(金) 福井大〔4月5日(金)〕
テーマ:データ分析・処理基盤, セキュリティ・プライバシー保護技術, ネットワークコーディング, 信頼性技術, DDoS, 認証/ID管理, 及び一般
- 7月18日(木), 19日(金) 北大〔5月10日(金)〕
テーマ:クラウドネットワーク技術, SDN, OpenFlow, プライベートネットワーク (VPN), オーバレイネットワーク・P2P, ネットワーク構成技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐
E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org
五十嵐弓将 (NTT)
TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5671
野村啓仁 (NTT)
TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5671

◎情報ネットワーク研究会ホームページ
<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄
幹事 全 眞嬉・河村彰星

日時 4月24日(水) 10:00~17:20

会場 神戸大学工学研究科 D1 棟 2階多目的会議室 1, 2, 3 (神戸市灘区六甲台町 1-1. 阪急六甲駅, JR 六甲道駅, 阪神御影駅から神戸市バス 36 系統「鶴甲団地前」行き乗車「神大本部工学部前」下車。 <http://www.eng.kobe-u.ac.jp/accessmap/index.html> 斎藤寿樹)

議題

- 枝刈り探索のパスへの拡張による到達可能性クエリ
○矢野洋祐・秋葉拓哉・岩田陽一 (東大)
- マルチトラックデータ上の近似順列パターン照合と索引構造
大田裕之・○桂 敬史・成澤和志・篠原 歩 (東北大)
- 文字列に含まれる連の最大指数和の解析— $n=52$ までの厳密値と新たな下界 2.03696 の発見—
草野一彦・○奥田遼介・

成澤和志・篠原 歩 (東北大)

- [招待講演] JST ERATO「河原林巨大グラフ」プロジェクトの目指す方向
河原林健一 (NII)
- On Polygon Reconstruction from Visibility Angles
Jinhee Chun・Ricardo Garcia・
○Takeshi Tokuyama (東北大)
- Extensions of the Multiroute Flow Problem
○Jean-Francois Baffier・Hidefumi Hiraishi・
Hiroshi Imai (Univ. of Tokyo)
- 階層グラフの直交描画アルゴリズム
○荒木徹也・
増田澄男・的場郁典・山口一章・斎藤寿樹 (神戸大)
- On computational complexity and an integer programming model of Shakashaka
Erik Demaine (MIT)・
Yoshio Okamoto (Univ. of Electro-Comm.)・
○Ryuhei Uehara (JAIST)・
Yushi Uno (Osaka Prefecture Univ.)

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
5月17日(金), 18日(土) 小樽商科大〔締切済〕

【問合先】

全 眞嬉 (東北大学院情報科学研究科)
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09
E-mail: jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp

——中国支部における開催——

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 4月12日(金) 11:00~17:00

会場 岡山大学津島キャンパス創立五十周年記念館 2階大会議室 (岡山市北区津島中 1-1-1. JR 岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行に乘車, 「岡大西門」で下車, 徒歩約 1 分. JR 岡山駅西口広場からタクシーで約 7 分. JR 津山線: 法界院駅下車, 徒歩約 10 分. http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumu-jpg/50kinenkan_img_tsushima_b.jpg TEL [086] 251-8137 豊田啓孝)

議題 PCB, 情報セキュリティ, EMC, 一般

- ガードトレースへの周期構造導入によるコモンモード放射抑制と信号品質維持の両立
○寺井優帆・豊田啓孝・
五百旗頭健吾 (岡山大)・渡辺哲史 (岡山県工技センター)
- コモンモード及びノーマルモードのアンテナモデルを用いた全 EMI 放射の定量予測
○渡辺哲史 (岡山県工技センター)・
若槻友里・豊田啓孝・五百旗頭健吾 (岡山大)
- Low Power CSSAL Bit-Parallel Multiplier over GF (2⁴) in 0.18 μm CMOS Technology
○Cancio Monteiro・
Yasuhiro Takahashi・Toshikazu Sekine (Gifu Univ.)
- 車載機器の等価回路化による伝導ノイズ解析手法の検討
○鳥越 誠 (日立)・土江慶幸 (日立アメリカ)・矢作保夫・
須賀 卓・大坂英樹 (日立)・稲垣隆之 (日立オートモティブ)

午後 (13:45~)

- DPI 法による電圧レギュレータの雑音耐性試験における再現性の向上
○池原伸明・松嶋 徹・久門尚史・
和田修己 (京大)
- 等価電流源モデルに基づく暗号 FPGA で発生するランダムノ

イズの分散算出—AES-128 暗号における検討—

○五百旗頭健吾・天野哲夫・豊田啓孝 (岡山大)・
渡辺哲史 (岡山県工技センター)

- 全無響室と半無響室の試験結果偏差に与える電波吸収体性能の影響
○長岡啓太・桑原伸夫 (九工大)・
島先敏貴 (NEC エンジニアリング)・村松秀則 (VCCI 協会)
- 人工材料シートの誘電率, 透磁率測定法の検討
○山本真一郎・畠山賢一 (兵庫県立大)・葛岡孝則 (広島大)
- 暗号モジュールへの意図的な電磁妨害によって発生する誤り暗文に関する考察
○林 優一・本間尚文・水木敬明・
青木孝文・曾根秀昭 (東北大)
- 〔特別講演〕 電磁波セキュリティの標準化動向
富永哲欣 (NTT 西日本)

◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会 共催.
IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月10日(金) 東工大〔締切済〕テーマ: EMC, 一般

6月21日(金) 京大〔4月8日(月)〕テーマ: EMC, 一般

7月11日(木) 機械振興会館〔5月13日(月)〕テーマ: 若
手研究者発表会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)

〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110

TEL & FAX [03] 5734-2992

E-mail : emcj@mail.ieice.org

——九州支部における開催——

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

日時 4月18日(木) 10:20~17:45

19日(金) 9:05~14:15

会場 石垣市民会館 (石垣市浜崎町 1-1-2, バスターミナルから
徒歩 5 分。 [http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/400000/
410000/410400/cityhall/city_hall.htm](http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/400000/410000/410400/cityhall/city_hall.htm) TEL [0980] 82-1515
(会場) 須山 聡)

議題 無線アクセス技術, 一般

18日午前 RCS1

- 1 bit 量子化 A/D 変換を用いるシングルキャリア位相変調シ
ステムの特性評価 ○牟田 修・兼本大輔・福永龍太・
古川 浩 (九大)
- Results of Field Measurement with Wideband MIMO Sounder
at 11 GHz Frequency for Microcell ○Yuyuan Chang・
Pham Van Hue・Minseok KIM (Tokyo Inst. of Tech.)・
Jiyun Shen・Yasuhiro Oda (NTT DOCOMO)・
Jun-ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)
- 920 MHz 帯無線通信システムの伝搬性能評価
芹澤靖隆 (日立)

Express セッション 1

4. On the Possibility of Virtual Wireless Access as Part of a
Practical Usecase—Yet Another Practical Use for WiFi
Hotspot and WiFi P2P Specs—

Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)

18日午後 RCS2

- 大規模アンテナ無線エントランスシステムの提案—マルチ
ユーザ MIMO 技術の新しいアプローチ— ○太田 厚・
丸田一輝・黒崎 聡・新井拓人・飯塚正孝 (NTT)
- 大規模アンテナ無線エントランスシステムの提案—計算機シ
ミュレーションによる特性評価— ○丸田一輝・太田 厚・
黒崎 聡・新井拓人・飯塚正孝 (NTT)
- 送信ダイバシティに適用する相対マッピング方式の特性評価
○増田進二・佐野裕康・能田康義・中村亮介・平 明德・
石津文雄 (三菱電機)

RCS3

- 分散協調アクセス制御のための自律分散マッチング法に関す
る一検討 ○岩淵匡史・岸田 朗・新宅俊之・
阪田 徹 (NTT)
- LTE ヘテロジニアスネットワークにおける送信電力最適化方
式 ○井上高道・小林航生・菅原弘人・松永泰彦 (NEC)
- 異なるセル密度における JT-CoMP の特性評価
○林 高弘・北藪 透・難波 忍 (KDDI 研)
- LTE-Advanced 下りリンクにおける干渉抑圧合成受信器の
干渉抑圧効果を含めた CSI フィードバック時の特性評価
○佐野洋介・大渡裕介・森本彰人・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

招待講演

- 〔招待講演〕 高周波数帯を用いた超高速移動通信システムの
検討—石垣市フィールド試験結果に基づく考察—
○小田恭弘・シン キュン (NTT ドコモ)
- 〔招待講演〕 安全運転支援を中心とした ITS の無線通信技
術の現状と研究課題 山尾 泰 (電通大)

19日午前 RCS4

- 干渉電力推定に基づく周波数共用帯域の送信電力制御手法
○池田 敦・富里 繁 (岡山大)・藤井啓正 (NTT ドコモ)・
秦 正治 (岡山大)
- Distributed Cooperative MIMO Secondary Transceivers
Design for Overlay Cognitive Radio Systems
○Bassant Abdelhamid・Osamu Muta (Kyushu Univ.)・
Maha Elsabrouty (EJUST Univ.)・
Masoud Alghoniemy (Univ. of Alexandria/EJUST Univ.)・
Salwa Elramly (Ain Shams Univ.)・
Hiroshi Furukawa (Kyushu Univ.)
- 送受信協調フィルタリングを用いるシングルキャリア分散ア
ンテナ適応 MIMO 伝送の HARQ スループット
○熊谷慎也・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)
- Lattice Reduction-Aided MIMO Detection with Interference
Cancellation for MU-MIMO Precoded Wireless System
○Lanante Leonardo Jr.・Kurosaki Masayuki・
Ochi Hiroshi (Kyushu Inst. of Tech.)

RCS5

- フェージング環境下での狭帯域化 DS-SS 伝送の RAKE 受信
特性 ○中西亮太・大山修毅・太郎丸 真 (福岡大)
- Express セッション 2
- 拡散符号に M 系列を用いた狭帯域化 DS-SS 伝送の PAPR 特
性評価 ○大山修毅・中西亮太・太郎丸 真 (福岡大)
- A Study on Utilization of Full-Duplex Relays in MIMO

Cellular System with Disaster Cells ○Tetsuki Taniguchi・
Yoshio Karasawa・
Nobuo Nakajima (Univ. of Electro-Comm.)

19 日午後 RCS6

8. Faster Frequency-Domain Adaptive Sparse Channel Estimation Methods for Time-Variant Communication Systems

○Guan Gui・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

9. BICM-OFDM システムに適した誤り訂正符号に関する一検討

○堀 勇太・落合秀樹 (横浜国大)

10. 仮想差動復号器とスパースパイロットを用いた繰り返し復号法に関する一検討

○衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

◎18 日研究会終了後、懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 16 日 (木), 17 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク, メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技術, 無線通信及び一般

6 月 20 日 (木), 21 日 (金) 北大 [4 月 4 日 (木)] テーマ: 初めての研究会, 鉄道, 車々間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7 月 17 日 (水)~19 日 (金) アクトシティ浜松 [5 月 6 日 (月)] テーマ: 無線分散ネットワーク及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

須山 聡 (東工大)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

◎最新情報は、RCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/rcs/jpn/>

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三

幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 鴻野晃洋

日時 4 月 25 日 (木) 12:30~16:50

26 日 (金) 9:10~16:50

会場 屋久島環境文化村センター (熊毛郡屋久島町宮之浦 823-

1. https://www.yakushima.or.jp/htdocs/index.php?action=pages_view_main&page_id=17 TEL [0942] 81-4034 松田直樹 (産総研))

議題 薄膜 (Si, 化合物, 有機, フレキシブル) 機能デバイス・バイオテクノロジー・材料・評価技術及び一般

25 日

1. 低電圧パルス印加による細胞膜破壊と細菌類検査の前処理方法の開発

○松田直樹・岡部浩隆・中島達朗 (産総研)

2. カリックスアレーンコーンコンフォーマーを基体とした光誘起電子移動システムの合成と光化学特性

○有村隆志・井手誠二・古部昭広 (産総研)

3. ディップコーティング法により作製されたバクテリオロドプシン薄膜の配向評価—SHG におけるキラリティーと絶対的配

向— ○山田俊樹・春山喜洋・笠井克幸・照井通文・
田中秀吉・梶 貴博 (NICT)・菊池 宏 (NHK)・
大友 明 (NICT)

4. エバネッセント励起による超高感度蛍光測定と応用

長村利彦 (北九州高専)

5. Ge 系ヘテロ構造の形成

○松村 亮・佐道泰造・

宮尾正信 (九大)

6. 有機半導体 PTB7:PCBM フレキシブルバルクヘテロ接合太陽電池の電極間に挿入したバッファ層の影響

○柳館 樹・

大関将矢・柳 雄一郎・新井友樹・奥川孝紀・

吉田 哲 (日大)・藤井俊治郎・片浦弘道 (産総研)・

西岡泰城 (日大)

7. MEMS 技術で作製したフレキシブル流路型グルコース燃料電池の試作と評価

○小出翔平・生駒竜太・福士雄大 (日大)・

辻村清也・赤塚 渉 (筑波大)・西岡泰城 (日大)

8. 微細構造が転写された有機フレキシブルシート表面への OP9 細胞の培養評価

○前之園裕隆・齊藤博文・西岡泰城 (日大)

9. [招待講演] バイオインターフェースの設計と機能

長崎幸夫 (筑波大)

26 日午前

1. [招待講演] 有機 EL, 有機太陽電池の創製と解析

梶 弘典 (京大)

2. ナノポーラス陽極酸化膜を利用したバイオトランジスタの作製

○工藤一浩・黒澤翔太・山内 博・国吉繁一・

酒井正俊 (千葉大)

3. 電気化学活性分子によるシリコン表面の機能化—フェロセン誘導体の光化学反応による固定化とその電気化学応答—

杉村博之 (京大)

4. 化学修飾ナノダイヤモンド粒子 MRI 造影剤の作製

○中村拳子・大花継頼 (産総研)・藪野 元 (慶大)・

笠井ルミ子 (東邦大)・鈴木哲也 (慶大)・

長谷部光泉 (東海大)

5. 光硬化性高屈折率有機-無機ハイブリッド材料の創成

○杉原興浩・蔡 斌・エリム ヘンドリー・阿尻雅文・

戒能俊邦 (東北大)

6. 誘電泳動による微粒子操作の生体分子計測への応用

○安川智之・水谷文雄 (兵庫県立大)

26 日午後 (13:10~)

7. プラズマ照射による植物の成長促進

○北崎 訓・

林 信哉 (九大)

8. 放電プラズマ中ラジカル照射による低侵襲遺伝子導入法の開発

○金子俊郎・佐々木渉太・小西秀明・石田裕康・

神崎 展 (東北大)

9. 生体適合性を有する界面形成高分子とその医療応用

大塚英典 (東京理科大)

10. 電気化学測定を利用したヘムタンパク質シトクロム c3 の電子移動指向性の解明

○朝倉則行・田木正樹・深井麻美・

澁谷直哉 (東工大)

11. 酵母細胞の時空間同期現象

雨宮 隆 (横浜国大)

12. 電気化学的アルカリホスファターゼ活性測定法に基づくマウス ES 細胞の分化過程の評価

○珠玖 仁・新井俊陽・

西條 拓・周 縁殊・伊野浩介・末永智一 (東北大)

13. ソフト界面の構築によるタンパク質の高機能固定化技術

○高井まどか・高須健司 (東大)

14. 牛乳アレルギー患者の IgE エピトープ解析法の開発

大河内美奈 (名大)

☆SDM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月18日(火) 機械振興会館 [4月11日(木)] テーマ:
ゲート絶縁薄膜, 容量膜, 機能膜及びメモリ技術 (応用物理
学会; シリコンテクノロジー分科会共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

☆OME 研究会

【問合先】

松田直樹 (産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail: nakamura.jiro@lab.ntt.co.jp

— 今後の予定 —

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月27日(木), 28日(金) 沖縄科技大メインキャンパス [4
月10日(水)] テーマ: 機械学習によるバイオデータマイ
ニング, 一般 (情報処理学会; バイオ情報学研究会連催, 日
本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催)

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合先】

木村聡貴 (NTT)

TEL [046] 240-3681

E-mail: kimura.toshitaka@lab.ntt.co.jp

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博

幹事 梅村浩之・洪井 進

幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月30日(木), 31日(金) 沖縄産業支援センター [締切済]

テーマ: コミュニケーション支援及びヒューマンコミュニ
ケーション一般 (HI学会; コミュニケーション支援専門研
究委員会連催)

【問合先】 (HCS)

井上智雄 (筑波大)

E-mail: inoue@slis.tsukuba.ac.jp

◎<http://www.ieice.org/~hcs/>

電子情報通信レクチャーシリーズ新刊 会員特価販売のご案内

<第27回配本>

C-14 電子デバイス

4月中旬発行

(社)電子情報通信学会 編/和保孝夫 著

(株)コロナ社 発行

B5判/198頁/定価3,360円/会員特価3,100円(税・送料込)

半導体を用いた電子デバイスは、パソコン、携帯端末などの情報処理/通信機器の心臓部に使われ、その基本性能と機能を決めてきた。本書では、この電子デバイスに関して材料から動作原理、集積回路への応用までわかりやすく説明する。

<主要目次>

序論/モデルデバイス/半導体におけるキャリアの挙動/ pn 接合/
MOSFET / BJT / CMOS 論理回路/メモリ/まとめと今後の展望

◆申込方法◆ ご氏名, 送付先の会社名, 学校名, ご住所, 電話番号を明記の上, FAXまたはe-mail(書式自由, 会員特価販売分と記入)にて, 直接コロナ社にお申込み下さい。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10

(株)コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係

TEL 03-3941-3131(代) FAX 03-3941-3137

e-mail: gyomu@coronasha.co.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第1回超高速光エレクトロニクス研究会

委員長 三沢和彦 (東京農工大)

日時 平成25年4月13日(土) 13:00~17:35

会場 東京農工大学小金井キャンパス新1号館グリーンホール
(小金井市中町2-24-16. JR中央線:東小金井駅下車, 徒歩10分. http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/index.html)

テーマ「超高速光エレクトロニクスとナノ材料科学の融合研究推進に向けて」

講演プログラム

1. [招待講演] 超高速大容量光伝送技術の現状と将来展望
中沢正隆 (東北大)
2. [招待講演] 光の螺旋性とカイラル構造体
尾松孝茂 (千葉大)
3. [招待講演] 高エネルギー密度状態の研究展開—ホロー原子固体から warm dense matter まで—
米田仁紀 (電通大)
4. [招待講演] 超高速光電子分光: 気相から液相へ
鈴木俊法 (京大)
5. [招待講演] 時空間モルフォロジー制御による能動メゾ光学
五神 真 (東大)
6. [招待講演] 窒化物半導体の高品質厚膜成長—理論的解析から成長まで—
額野明伯 (東京農工大)

参加資格 どなたでも参加できます。

参加費 無料

交流会 研究会終了後(18:00~19:45), 研究交流会(会費:2,000円を予定)を小金井キャンパス内の140周年記念会館(エリプス)3Fにて行いますので, 御参加下さい。

【問合先】 第1回研究会現地世話人

三沢和彦 (東京農工大)

TEL & FAX [042] 388-7485

E-mail: kmisawa@cc.tuat.ac.jp

芦原 聡 (東京農工大)

TEL & FAX [042] 388-7536

E-mail: ashihara@cc.tuat.ac.jp

【事前申込先】 電子メール photon-nano@femto.tuat.ac.jp まで,

①氏名, ②所属, ③連絡先 (E-mail と電話番号), ④交流会への参加有無を御記入の上, 4月5日(金)までにお申し込み下さい。当日の参加申し込みも受け付けますが, 参加者数等の把握のため, 事前の申し込みをお願い致します。お預かりした個人情報情報はシンポジウム運営にのみ使用します。

主催 超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会

東京農工大学光ナノ科学融合研究リング

後援 東京農工大学研究戦略センター

●エレクトロニクスシミュレーション・テラヘルツ応用システムワークショップ

日時 平成25年5月9日(木) 10:00~17:00

会場 NTT厚木研究開発センタ(厚木市森の里若宮3-1. <http://www.ntt.co.jp/sclab/maps/a.html>)

テーマ「周波数利用帯の拡大・効率化で拓かれる新たな世界」

概要

エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会では, 大学間及び産学間の連携, 協調を通してシミュレーション技術の検討, 開発及び統合を追求するとともに, 開発設計現場や大学教育におけるシミュレーションの適切な普及等を目的とした広範囲な活動をしてきております。一方, テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会では, テラヘルツ帯(0.1~100 THz)を利用した分析・センシング技術等, 新たな周波数帯を利用したアプリケーション及び実現技術が注目を浴びる中, 更なるテラヘルツ帯応用に向け, デバイス技術, システム技術の研究開発の普及・促進に向けた活動をしています。

今回, エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会として第2回目となるワークショップでは, テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会との共催により, 電磁波応用という観点から「周波数利用帯の拡大」, 「周波数利用の効率化」について議論を深めるとともに, 計算機性能向上, NWクラウド化により可能となった大規模シミュレーション技術の適用という観点から「シミュレーション技術アプリケーション応用」に関して議論を深めたいと思っています。また, 本ワークショップでは, 「シミュレータベンダ講演の部」としてベンダ, 大学等によるシミュレータに関するショート講演を企画するとともに「ベンダシミュレータ展示」を予定しております。更に, ワorkshop参加者を対象としたNTT厚木研究開発センタ展示ホールの公開も計画しています。この機会に皆様お誘い合せの上, 是非御参加下さいませよう御案内申し上げます。

プログラム 後日, エレクトロニクスシミュレーション研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/es/est/workshop.html>) 及びテラヘルツ応用システム研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/es/thz/>) にて告知します。

参加費 ワorkshop参加費 3,000円(資料代含む)

参加申込方法 当日参加も受け付けますが, 会場準備のため, 事前にE-mailにての参加申込みに御協力下さい。なお, 申込先についてはEST研究会ホームページにて後日掲載予定です。

【問合先】 EST研究会ワークショップ担当幹事

木村秀明 (NTTアクセス・ビジネスシステム研究所)

TEL [046] 859-5280, FAX [046] 859-5514

E-mail: kimura.hideaki@lab.ntt.co.jp

主催 エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会

テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

●第1回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦 (古河電工) 副委員長 横井秀樹 (芝浦工大)

日時 平成25年5月15日(水) 13:30~17:30(予定)

受付開始時間 13:10~

会場 古河電気工業横浜研究所3階研修室(横浜市西区岡野2-4-3. <http://www.furukawa.co.jp/kaisya/siten/yokoken.htm>)

テーマ「デジタルコヒーレント通信用集積デバイスとその応用」
第1回研究会を下記の内容で開催します。

100 Gbit/sの高速デジタルコヒーレント通信の導入が進んでいます。第1回集積光デバイスと応用技術研究会では, コヒーレント通信の最新動向, キー光コンポーネント, デジタル信号処理, Beyond 100 Gbit/sに向けた集積光技術に関する講演を行います。システム側からの要望も交え, 活発な議論ができますよう, 多数の方々の御参加をお待ちしております。

プログラム(予定)

1. [招待講演] 光通信システムの第3世代技術：デジタルコヒーレント通信 富沢将人 (NTT)
2. [招待講演] ナイキスト波長多重伝送システムの研究動向 五十嵐浩司・釣谷剛宏・森田逸郎 (KDDI 研)
3. [招待講演] デジタルコヒーレント通信用波長可変レーザ 上坂勝己 (住友電工)
4. [招待講演] コヒーレントレーザの開発動向 仲尾拓弥・山内康寛・柴田康平・古川博之 (富士通オプティカルコンポネツト)
5. [招待講演] 光伝送システムのための高速デジタル信号処理回路 山崎悦史 (NTT)
6. [招待講演] 空間多重伝送用光ファイバ技術 今村勝徳・杉崎隆一 (古河電工)

7. [フリーディスカッション]

参加資格 特に関りません

参加申込 研究会開催当日、会場にて受け付けます (事前申し込み不要)

参加費 一般5,000円、学生1,000円

【研究会に関する問合せ】〔第1回研究会担当委員〕

向原智一 (古河電工)

TEL [0436] 42-1771

E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ】〔幹事〕

向原智一 (古河電工)

TEL [0436] 42-1771

E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●ネットワークシミュレーションスクール

実行委員長 漆谷重雄 (NII)

日程 平成25年5月15日(水) 13:00~23:00

16日(木) 9:00~15:00 (予定)

会場 総合研究大学院大学 (三浦郡葉山町)

内容

1. ns3のインストール (ノートPCを御持参頂きます)
2. 基本的な使い方
3. トランスポート層シミュレーションの演習
4. ns2との違いと既存シミュレーションの移植
5. 質疑応答

講師 長谷川 剛 (阪大)

概要

情報通信分野の研究を進める上で、ネットワークシミュレーションは不可欠な手段ですが、本質的でない作業に時間を取られることも多いかと思えます。また、多くの研究者が同じ問題で苦心しているケースも散見されます。そこでネットワークシステム研究会では、ネットワークシミュレーションに関する知識の共有と相互の意見交換のため、学生及び若手研究者を主な対象者として、汎用シミュレータ ns3 のスクールを1泊2日の合宿形式で開催しますので、是非御参加下さい。

【参加申込】

参加対象者 学生 (学部4年次生以上を想定) 及び若手研究者

募集定員 30名程度 (原則として先着順)

申込締切 4月22日(月)

参加費 学生15,000円/一般20,000円 (宿泊費・夕食代含む)

申込 URL <http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/nss/index.html>

【問合せ先】

木下和彦 (阪大)

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

主催 ネットワークシステム研究専門委員会

●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第46回)「究める GTD」

実行委員長 宇野 亨 (東京農工大)

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました。これは、アンテナ・伝播研究者や技術者を主たる対象に、設計・解析力の向上を図ることを目的とするもので、これまでにモーメント法及びFDTD法によるアンテナ解析、アレーアンテナ、OFDMアレー信号処理及び高分解能到来波推定法、移動通信における多重波伝搬理論、人体ファントムとアンテナ評価技術、無線タグ用アンテナ設計、メタマテリアルの基礎などをテーマに、45回のワークショップを企画し好評を頂いております。

今回の第46回ワークショップでは、開口面アンテナの設計や電波伝搬などに利用されている幾何光学的回折理論 (GTD) の基礎をテーマとします。本講義は、幾何光学 (GO) から始まり、物理光学 (PO) との違い、GTDの基礎であるエッジ回折波や表面波回折波を説明し、都市伝搬推定などの応用事例まで紹介致します。GTDについて、その考え方を詳細に解説することで、これらの基礎を習得することを目的とします。

講師 白井 宏 (中大)

講義内容

1. 漸近展開
2. 幾何光学 (GO)
3. 物理光学 (PO)
4. 幾何光学的回折理論 (エッジ回折)
5. 幾何光学的回折理論 (表面回折)
6. GTDの問題点とその拡張
7. GTDの応用例

上記の講習内容は、若干変更することもございますので御了承下さい。なお、テキストは受講者に約3週間前に配布され、予習して頂くことを前提としています。

日時 平成25年6月17日(月) 9:30~17:00

会場 東京工業大学田町キャンパス キャンパス・イノベーションセンター国際会議室 (港区芝浦3-3-6, JR山手線/京浜東北線:田町駅 徒歩1分。 <http://www.titech.ac.jp/about/campus/t.html>)

受講定員 100名

受講料 (テキスト代金を含む)

一般/会員15,000円、非会員25,000円

学生/会員5,000円、非会員10,000円

申し込み受け付け後、事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので、それに従って受講料をお支払い下さい。会員価格での受講を希望される方は、受講申込書に会員番号の記載が必要になりますので、御注意下さい。学会への入会手続き中の方は、学会へ提出した入会申込書のコピー等、入会を確認できる資料の提出をお願いします。会員/非会員の受講料の差額は、

一般の方については電子情報通信学会年会費のほぼ3/4に相当し、学生の方については年会費を上まわっております。非会員の方には、この機会に、電子情報通信学会への入会をお勧め致します。入会に関する情報は下記のURLを御参照下さい。

電子情報通信学会入会案内

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

受講申込み期間 4月1日(月)~5月31日(金)

先着順です。満員になり次第締め切ります。期日前の申し込みは無効です。

【受講申し込み方法】 下記URLからお申し込み下さい。

なお受講申込後1週間以内に事務局からの回答がない場合には事務局へ申込受付確認の連絡をお願い致します。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/ws46>

(上記URLから、まえがきと目次のPDFファイルが確認できます。)

【問合先】 受講申込に関して

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ 第46回
実行委員会事務局 長尾圭子(東工大大学院電気電子工学専攻安藤研究室気付)

E-mail: workshop@antenna.ee.titech.ac.jp

上記以外

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ 第46回
実行委員会総務担当幹事 高橋応明(千葉大)

TEL [043] 290-3498, FAX [043] 290-3327

E-mail: omei@faculty.chiba-u.jp

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛 電磁界理論研究専門委員会, 電気学会; 磁界理論技術委員会, IEEE AP-S Japan Chapter

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●アシュアランスシステム研究会

委員長 角田良明(広島市大)

期日 平成25年5月17日(金)

会場 首都大学東京秋葉原キャンパス

講演申込締切 4月26日(金)

講演申込方法

氏名, 所属, 講演題目, 概要(数行), 連絡先(住所, TEL, FAX, E-mail)をE-mailで下記問合せ先・申込先にお送り下さい。追って必要事項をお知らせします。

本研究会は、以下に示すような経緯と目的からディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下に第二種研究会として開催しています。本研究会は新しい技術であるアシュアランスシステムの今後の発展に寄与することを目的とします。多くの方々の御参加をお願い致します。

研究会の内容

近年、ネットワークの発展に伴い、自律したシステムが接続されるようになってきました。これらシステムは異種のニーズを持つだけでなく、頻繁にニーズが変化します。このようなニーズの異種性と状況変動に対する適応性を満たし、異種システムを共存させる技術を「アシュアランスシステム技術」と呼びます。

1996年には、日米欧の関係者を中心とし、IEEEにてHigh

Assurance System Engineering 国際会議が設立されました。国内では、1998年以降フォールトトレラントシステム研究会(現ディベンダブルコンピューティング研究会)にて「アシュアランスシステム」が特集され、大学や企業からニーズ、問題点、解決策、実用例などについて多数発表されました。

このような経緯から、アシュアランスシステムに関する先進的な議論と提案の場として2000年にアシュアランスシステム研究会を発足致しました。また、2002年から毎年、Assurance in Distributed Systems and Networks 国際会議が開催されています。そのため、ネットワーク分野へのアシュアランスシステム技術の応用についての研究も進んできました。

本研究会では、制御/情報系システムから、大規模広域システム、超分散システムまで、システム技術、ネットワーク技術、デバイス技術、応用について、設計技術、実装技術、評価技術、先進的な応用例など幅広くアシュアランスシステムに関する諸問題を研究対象項目とします。

【問合先・申込先】 幹事

河野英太郎(広島市大)

E-mail: kouno@hiroshima-cu.ac.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

●平成25年度第1回複雑コミュニケーションサイエンス(CCS)研究会

委員長 長谷川幹雄(東京理科大)

情報通信技術は、私たちの生活や社会を支える最重要技術として目覚ましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報通信技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになってきました。

このような現状を踏まえて、本時限研究専門委員会は、情報通信技術の全ての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い、そこにある現実的問題の本質、限界、そしてそれらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指しております。

本年度第1回目の研究会では、既存の分野を越えた相互作用を継続的に行っていく場を提供すべく、「相互作用(インタラクション)と情報伝達(コミュニケーション)」をキーワードとし、次世代技術の研究開発とその具体化・実施を目指す「エンジニアリング」(情報通信システム)と、より複雑化、極限化していく技術の本質、限界、普遍的特質の解明を目指す「サイエンス」(数理物理、生体生物、社会経済)の交流を通して、ユニークな議論を行いたいと考えております。

今回は、活発な情報交換と議論の場を目指していますので、これまでの研究のレビュー的な発表から、最新の技術・研究成果の発表まで、いずれも歓迎致します。

期日 平成25年6月3日(月), 4日(火)

会場 立命館大学びわこ・くさつキャンパスエポック21 (<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cm/sokan/epoch/epoch.html>)

テーマ: 相互作用(インタラクション)と情報伝達(コミュニケーション)及び一般

[基調講演] 普遍現象としての集団同期 蔵本由紀(京大)

[招待講演] 開放ネットワーク系における多様化転移

島田 尚(東大)

[招待講演] 量子ドット間の近接場光相互作用に基づくナノ光伝

送システム 野村 航 (東大)
〔招待講演〕 情報通信の要素技術の温故知新 田中久陽 (電通大)

発表申込締切 4月26日(金)
予稿提出締切 5月26日(日)
参加申込締切 5月26日(日)
参加費:一般 3,000円(予定,USB講演資料代含む),学生
無料

【発表形態・発表申込方法】

今回は分野間インタラクションを目的としておりますので,原則口頭発表です.研究のレビュー的な発表から最新の技術・研究成果発表まで,歓迎致します.氏名,所属,連絡先,発表される場合は題目をメールにて下記発表/参加申込・問合せ先まで御連絡下さい.

【発表/参加申込・問合せ先】

坪 泰宏(理研)
E-mail:yasuhirosubo@riken.jp

【現地世話人】

徳田 功(立命館大)
E-mail:isao@fc.ritsumei.ac.jp

◎最新情報は,当研究会のホームページを御覧下さい.

<http://www.ieice.org/ess/ccs/>
主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

●第51回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣(関西大)
本研究会は,ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します.本研究会は,平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降,複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました.

近年のLSI製造技術の進歩により,大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS(Functional Integrated Information System)の構築技術が注目されています.そこで,本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています.

まず,ICチップ製造段階では,チップの歩留まり解析,歩留まり向上設計法,レイアウト解析,フォールトトレラント手法などが挙げられます.また,ICチップ上の情報システム構築(SOC: System On Chip)技術としては,IC内部の欠陥検出法(テスト手法やBIST: Build In Self Test)や誤り訂正・回復技術,故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式,耐故障再構成可能情報システムの構築技術,動的再構成可能情報システムの構築技術,低消費電力技術などが挙げられます.更には,故障モデルの解析,信頼度解析,性能評価などの理論的解析手法も挙げられます.

本機能集積情報システム(FIIS)研究会は,上述したような技術を,応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています.本研究会では上記内容を中心としていますが,それらにとらわれず,各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します.

今回の第51回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので,多数の申し込みをお待ちしております.
期日 平成25年7月5日(金)

会場 桐生市市民文化会館(桐生市織姫町2-5)
一般申込締切 4月8日(月)

発表を希望される方は,論文題目,著者,所属,連絡先を下記幹事までお知らせ下さい.

【申込・問合せ先】

金子晴彦(東工大大学院情報理工学研究所)
E-mail:hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp
主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

◎…………… 2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演募集案内予告 ……………◎

期日 2013年9月17日(火)~20日(金)
会場 福岡工業大学(福岡市)

2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会は,基礎・境界,通信,エレクトロニクスの3ソサイエティ合同にて行われます.ソサイエティ大会講演募集案内等の詳細は5月号会告,またはホームページにて5月上旬より御覧頂けます.

5月上旬からインターネット講演申込登録受付を行う予定です.
情報・システムソサイエティ,ヒューマンコミュニケーショングループにつきましては,FIT2013(次ページ)を御覧下さい.





【会期】 2013年9月4日(水)～6日(金)
【会場】 鳥取大学鳥取キャンパス (鳥取市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2013年9月には第12回目を鳥取大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2013年6月21日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT の特徴の一つは、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞、ヤングリサーチャー賞からなる論文表彰制度がありますが、今回の FIT よりこれに加えて FIT 奨励賞を新たに創設致しました。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に10件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文3件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2013 会期中) にて賞金 20 万円を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文10件程度の中から受賞論文7件程度を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2013 会期中) にて賞金 5 万円を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の1.5%を上限として、2013年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には賞金3万円を次回のFIT2014の表彰式にてFIT推進委員会より贈呈。

※いずれの賞も、電子情報通信学会または情報処理学会の会員であること。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2013Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

- 【注1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。
- 【注2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。
- 【注3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。
- 【注4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。
- 【注5】 FIT 査読付き論文でページ数が4ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。
- 【注6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が6ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。
- 【注7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■申込主要日程

- 登録申込/投稿受付開始 : 2013年3月6日(水)
- 登録申込締切/査読用原稿の投稿締切 : 2013年4月17日(水)
- 査読の採否結果通知 : 2013年6月21日(金)
- 論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ) : 2013年6月21日(金)
- 最終原稿投稿締切 : 2013年7月1日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は2～8ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約2か月遅くなります。

■申込主要日程

登録申込/投稿受付開始：2013年4月24日（水）

登録申込締切：2013年5月23日（木）

最終原稿投稿締切：2013年7月1日（月）

【募集分野】

以下の15の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）と情報処理学会との研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会（研究分野）

● A：モデル・アルゴリズム・プログラミング

A-1 ☆アルゴリズム (AL)

A-2 ☆数理モデル化と問題解決 (MPS)

A-3 ☆プログラミング (PRO)

A-4 ※コンピュータシミュレーション (COMP)

● B：ソフトウェア

B-1 ☆ソフトウェア工学 (SE)

B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)

B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS)

B-4 ☆デジタル・ドキュメント (DD)

B-5 ※ソフトウェアサイエンス (SS)

B-6 ※知能ソフトウェア工学 (KBSE)

● C：ハードウェア・アーキテクチャ

C-1 ☆システム LSI 設計技術 (SLDM)

C-2 ☆計算機アーキテクチャ (ARC)

C-3 ☆組み込みシステム (EMB)

C-4 ※コンピュータシステム (CPSY)

C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)

C-6 ※リコンフィギュラブルシステム (RECONF)

C-7 ※再生可能集積システム (RIS)

● D：データベース

D-1 ☆データベースシステム (DBS)

D-2 ☆情報基礎とアクセス技術 (IFAT)

D-3 ※データ工学 (DE)

● E：自然言語・音声・音楽

E-1 ☆自然言語処理 (NL)

E-2 ☆音声言語情報処理 (SLP)

E-3 ☆音楽情報科学 (MUS)

E-4 ※言語理解とコミュニケーション (NLC)

E-5 ※音声 (SP)

● F：人工知能・ゲーム

F-1 ☆知能システム (ICS)

F-2 ☆ゲーム情報学 (GI)

F-3 ※人工知能と知識処理 (AI)

F-4 ※情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)

● G：生体情報科学

G-1 ☆バイオ情報学 (BIO)

G-2 ※ニューロコンピューティング (NC)

G-3 ※ME とバイオサイバネティクス (MBE)

G-4 ※医用画像 (MI)

G-5 ※身体性情報学 (IEB)

● H：画像認識・メディア理解

H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)

H-2 ※パターン認識・メディア理解 (PRMU)

● I：グラフィクス・画像

I-1 ☆グラフィクスと CAD (CG)

I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM)

I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング (EC)

I-4 ☆デジタルコンテンツクリエーション (DCC)

I-5 ※画像工学 (IE)

● J：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)

J-2 ※異文化コラボレーション (IC)

J-3 ※クラウドネットワークロボット (CNR)

J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)

J-5 ◇ヒューマン情報処理 (HIP)

J-6 ◇ヒューマンプロンプト (HPB)

● K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

K-1 ※教育工学 (ET)

K-2 ※サイバーワールド (CW)

K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)

K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)

K-5 ◇福祉情報工学 (WIT)

● L：ネットワーク・セキュリティ

L-1 ☆インターネットと運用技術 (IOT)

L-2 ☆コンピュータセキュリティ (CSEC)

L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト (SPT)

L-4 ※情報通信システムセキュリティ (ICSS)

● M：ユビキタス・モバイルコンピューティング

M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス (GN)

M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム (UBI)

M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信 (MBL)

M-4 ☆高度交通システム (ITS)

M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理 (DPS)

● N：教育・人文科学

N-1 ☆コンピュータと教育 (CE)

N-2 ☆人文科学とコンピュータ (CH)

N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤 (EIP)

N-4 ☆教育学習支援情報システム (CLE)

● O：情報システム

O-1 ☆情報システムと社会環境 (IS)

O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)

O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM)

O-4 ※サービスコンピューティング (SC)

O-5 ※減災情報システム (DRIS)

【使用言語】

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数：2～8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数：4～8 ページ程度
 FIT 査読付き論文（論文誌推薦希望）：6～8 ページ程度
 ※ 3 ページ目以降から 1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
 講演時間：1 件 20 分（発表時間 15 分，質疑時間 5 分）

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文，FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会，情報処理学会，電気学会，照明学会，映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK，APSIPA，ECIT，IEEE/ComSoc，KICS，VDE/ITG，KIEES，CIC，IEEE/PHO，IEEE/MTT-S，IEEE/CS，KIISE）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM，IEEE，IEEE/CS，KIISE，CSI）の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費（税込み）〕

講演参加費は，基本原稿掲載料 2 ページ，講演料，聴講料，論文集 DVD-ROM，プログラム，参加章の代金を含みます。なお，DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが，プログラム，参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また，登録申込締切り後，講演の取消しをされても講演参加費

等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員（社会人）	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用（税込み）〕

エキストラページ（3 ページ目以降）を利用された場合には，講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費：1 ページ当り 3,000 円

〔別刷代（FIT 査読付き論文の採択者のみ）（税込み）〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷（100 部）を御購入頂きます。別刷代は，エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には，御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り，8,000 円で，講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお，講演論文集の一般販売は，個人購入の場合 1 部 12,000 円，団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2013 に関する最新情報は，FIT2013Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

電子情報通信学会 編

現代電子情報
通信選書

《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

デバイスからカメラのシステムまで最新の技術を網羅！

『画像入力とカメラ』

〔監修〕寺西信一（パナソニック株式会社） ○定価 5250 円（本体 5000 円＋税）／A5 判・404 頁

本書は、撮像デバイスから、カメラの光学系、各種機能の実現法、さらに不可視画像用のデバイスについて、概要から最新技術までをていねいに解説したものです。本分野の専門家だけでなく読み進められるように図などを多く掲載しました。

◎このような方におすすめ

- 画像入力やカメラの構造に興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
- カメラ開発に携わる研究者や実務者

◆目次◆

1部 撮像デバイス 撮像デバイスの歴史と基礎／代表的な撮像デバイス／特徴ある撮像デバイス／撮像デバイスを支える技術 2部 カメラ カメラの基礎／カメラの光学系／放送用・家庭用カメラ／各種カメラ／カメラ機能 3部 不可視画像入力 赤外線／テラヘルツ／生体認証 ーデバイスと応用／超音波／pH，イオン ーデバイスと応用



発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

平成 25 年度春季 先端オープン講座開講 —— 御案内と受講者募集 ——

本講座は、平成 25 年度から年 1 回の開講となり、平成 25 年度は、この春季講座開講のみとなりますので、御注意をお願い致します。

本講座は、電子情報通信分野における若手技術者から中堅技術者まで、また基礎的事項の理解から専門的事項、最新動向の理解・習得まで、幅広いニーズに応える講座として、既に 6,000 人を越える受講者実績となっています。

また、継続的な教育・能力開発 CPD (Continuing Professional Development) の実行が技術者に強く求められる時代となってきました。本講座は、まさにこのような時代の要請を先取りするものとなっています。現在本会の CPD トライアルが開始されたこともあり、Aa, Cs, Cp, D, F コースは 15 ポイント、A 回コースは 30 ポイントの CPD ポイント獲得となりますので、この機会に是非、CPD 会員に登録され、積極的に活用して下さい。詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

本講座のねらいと特徴

- ・技術者・研究者個人のスキルアップ及び企業における職域転換に伴う再教育
 - ・基礎から専門分野まで幅広く対応
 - ・基礎分野における基本的概念の理解と技術の体系的習得
 - ・専門分野における関連技術の最新動向の習得
 - ・学会活動の一環としての低廉な受講料と各分野第一級の講師陣による直接指導
 - ・技術者の継続的な教育・能力開発として位置付けられる CPD との連携
- 詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

I 講座実施内容

◇以下の 6 コースから御選択できます。Aa コースは A コースの一部 (6 講義) を受講するコースです。開催日は全て土曜日です

- A. 情報通信ネットワーク技術 (5 回で 10 講義分 6 月 8 日～ (6 月 22 日休講))
- Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術 (A コース後半 3 回で 6 講義分 6 月 29 日～)
- Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発 (2 回で 5 講義分 6 月 8 日, 15 日)
- Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント (2 回で 5 講義分 6 月 29 日, 7 月 6 日)
- D. 情報通信プロトコル技術 (2 回で 5 講義分 7 月 6 日, 13 日)
- F. 情報通信セキュリティ技術 (5 回で 5 講義分 6 月 8 日～)

専門分野別推薦コース表 (H25 春季)

コース名	主要受講対象 (コース選択の参考)				
	教育/企画/コンサル	営業/SE	ハード設計	ソフト開発	サービス/保守
A. 情報通信ネットワーク技術	◎	◎	◎	◎	◎
Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術	◎	◎	◎	◎	◎
Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発	○	○	○	◎	◎
Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント	○	○	○	◎	◎
D. 情報通信プロトコル技術	○	○	◎	◎	◎
F. 情報通信セキュリティ技術	◎	◎	○	◎	◎

注) ◎印: 特にお勧め, ○印: お勧め

- 所定のカリキュラムを受講された方には、学会から修了証書を授与します。
- 受講形態として「個人受講」と「団体受講」があります。団体受講の場合は、何人かのメンバーが分担して受講も可能です。なお、団体受講の場合には、修了証書は発行されません。
- 受講申込で取得した個人情報につきましては、本会教育関連の DM 発送、受講者の動向及び傾向の調査に利用致します。
- 各コース共、受講者が定員に満たない場合は、講座を中止することがあります。
- 講師都合、災害等のやむを得ない理由で、日時を変更または休講することがあります。休講する場合は、講座を受講したものと取り扱わせて頂き、後日の開講は致しませんので御了承下さい。

II 実施期日と申込み方法

カリキュラムの詳細は先端オープン講座ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>) から御覧の上、申込みできます。以下にカリキュラム概要を示します。また C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

期 日 平成 25 年 6 月 8 日・15 日・29 日, 7 月 6 日・13 日各土曜日 (ただし, 6 月 22 日休講), A コースは 6 月 8 日～5 回, Aa コースは 6 月 29 日～3 回, Cs コースは 6 月 8 日, 15 日, Cp コースは 6 月 29 日, 7 月 6 日, D コースは 7 月 6 日, 13 日, F コースは 6 月 8 日～5 回

時 間 午後 9 時～16 時 (17 時) (ただし, F コースは 13 時～16 時)

会 場 機械振興会館 (港区芝公園 3-5-8) 交通 地下鉄日比谷線神谷町駅下車 徒歩 10 分

定 員 各コース共 50 名 (早めにお申込み下さい。申込先着順により、満員になり次第締切ります)

締 切 日 定員に余裕がある場合は、5 月 27 日 (月) まで受付

申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、お申込み下さい。(なお、WWW ホームページからも申込みできます)

申 込 先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 一般社団法人電子情報通信学会 会員サービス部

先端オープン講座担当 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

受講券と受講料 申込先着順に受講券をお送りします。受講券がお手元に届き次第、下記の受講料をお払込み下さい。

個人受講	区 分	A コース		Aa, Cs, Cp, D, F コース		●講義テキスト代金, 消費税を含む ●学生員及び高等学校教員は、受講料割引の特典があります。お問い合わせ下さい。
		初受講	2 回目以降	初受講	2 回目以降	
	会 員	50,000 円	40,000 円	30,000 円	25,000 円	
	維持員に所属する非会員	60,000 円	50,000 円	35,000 円	30,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
	団 体 受 講	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半 2 コースの組合せ受講の場合、A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

- ・本会会員は会員優待制度 (受講料割引の特典) で受講できます。
- ・本講座受講が初めての場合は、「初受講」料金、これまでに本講座の受講経験のある場合は、「2 回目以降」料金になります。
- ・非会員の個人受講の方で、本会に入会を希望される方は、受講料を会員扱いとします。(詳細は連絡先にお問合せ下さい)
- ・映像情報メディア学会・応用物理学会・照明学会・情報処理学会・電気学会・土木学会等の個人会員の方の受講料は本会会員扱いとします。情報処理推進機構 (IPA) 利用登録団体及び、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ), (社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の企業会員に属する方の個人受講の受講料は、維持員に所属する非会員の扱いとします。

先端オープン講座 受講申込書

(講義のポイントを絞るための参考としますので、差し支えない範囲でできるだけ記入して下さい。)

1	ふりがな 受講者(代表者)氏名	2	年齢 歳
3	受講券の送り先(○印記入 自宅・勤務先) 〒 受講者(代表者)の勤務先名 TEL		
4	個人・団体受講, 希望 コース(○印で囲む)	個人受講 A: 通信ネット	Aa: インターネット
	団体受講	Cs: ソフト	Cp: PM
		D: プロトコル	F: セキュリティ
4	講座受講回数	1. 初回 2. 2回目以上	
	会員・非会員の別 (○印で囲む)	1. 正員 2. 学生員 (所属学会:) (会員番号:)	3. 維持員に所属する非 会員
		4. 非会員	5. 高校教員
5	本講座を何で知ったか (○で囲む, 複数可)	1. 本会誌 2. ポスター 3. 雑誌・新聞 4. 受講生からの紹介 5. 上司等からの紹介 6. WWW 7. その他 ()	
6	参加の動機 (○で囲む, 複数可)	1. 上司等からの奨め 2. 業務上の必要性 3. 専門的技術の蓄積・向上 4. 一般的技術の蓄積・向上 5. 教養の醸成 6. その他 ()	
7	これまでの主な業務名		
8	主な専門分野 (○で囲む, 複数可)	1. 教育/企画/コンサル 2. 営業 3. SE 4. ハード設計 5. ソフト開発 6. サービス/保守 7. その他 ()	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半2コースの組合せ受講の場合, A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

..... 切 取 線

Ⅲ 平成25年度春季講座のカリキュラム概要

カリキュラム詳細は, WWW ホームページで御覧になれます。(<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>)

C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

各コース

(敬称略)

●A.	情報通信ネットワーク技術	6月8日から開講
●Aa.	インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術 (A コース後半3回)	6月29日から開講
.....		
(6月8日 9:00~12:00)	情報ネットワークの概論 (通信網構成, トラヒック設計, 交換方式, QoS, ほか)	上山 憲昭 (N T T)
(6月8日 13:00~16:00)	IP 通信技術 (IPv4, IPv6, IP パケット, インターネットセキュリティ, ほか)	萱島 信 (日 立)
(6月15日 9:00~12:00)	無線通信技術 (電波伝搬の基本特性, 変復調技術, ソフトウェア無線技術, ほか)	関 智弘 (N T T)
(6月15日 13:00~16:00)	光ファイバ通信技術 (光アクセス技術, 光伝送技術, DWDM 伝送システム, ほか)	森田 逸郎 (K D D I 研)
.....		
(6月29日 9:00~12:00)	インターネットの通信技術(1) (LAN/WAN 技術, TCP/IP, TCP の性能, ほか)	山口 実靖 (工 学 院 大)
(6月29日 13:00~16:00)	インターネットの通信技術(2) (IP ルーティング, ルータ, トラヒック解析, ほか)	宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
(7月6日 9:00~12:00)	モバイル通信技術(1) (無線アクセス技術, 無線 LAN, Bluetooth, ZigBee)	榎木勘四郎 (K D D I 研)
(7月6日 13:00~16:00)	モバイル通信技術(2) (IMT-2000, モバイルインターネット, 次世代方式, ほか)	田村 基 (NTT ドコモ)
(7月13日 9:00~12:00)	次世代ネットワーク (NGN) の通信技術 (SIP, IP 電話 IPTV, IMS, ほか)	中村 秀文 (NTT ソフト)
(7月13日 13:00~16:00)	特別講義「情報通信ネットワークにおける新次世代技術の動向」(SDN, Open-Flow, データセンタネットワーク, ほか)	岩田 淳 (N E C)

(敬称略)

●Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発

(6月8日, 15日9:00~16:00)

講師: 駒谷 昇一 (NTT データ)

- (6月8日 9:00~12:00) ソフトウェア開発方法の概要 (ソフトウェア開発とプログラム作成の違い, ほか)
- (6月8日 13:00~16:00) 開発提案の作成方法 (システム受注の流れ, システム提案書/開発計画書の構成, ほか)
- (6月15日 9:00~12:00) プログラム設計の進め方 (外部設計工程の進め方, 例示する「外部設計書」のレビューを体験, ほか)
- (6月15日 13:00~16:00) プログラム試験の進め方 (単体テスト/結合テスト/総合テストの進め方, ほか) 運用保守の進め方

(敬称略)

●Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント

(6月29日, 7月6日9:00~17:00)

- (6月29日 9:00~12:00) プロジェクトマネジメントの概要 (システム開発工程とプロジェクトプロセス, QCD視点によるプロジェクトマネジメント, ほか) 大森久美子 (N T T)
- (6月29日 13:00~14:50) 要件定義の概要と動向~発注者と開発者で意識ずれのないシステム設計を行うために~ (要件定義の目的, 機能要件と非機能要件, 発注者と受注者の合意形成とは, ほか) 柏木 雅之 (富 士 通)
- (6月29日 15:00~17:00) 開発の見積り手法 (見積りとは, 見積り対象, 見積り精度の向上, COCOMO等具体的な見積り手法, ほか) 菊地奈穂美 (O K I)
- (7月6日 9:00~12:00) ソフトウェアの品質管理 (PMOの活動範囲, 開発プロジェクトにおける品質管理, 運用・保守における品質管理, ほか) 草場 圭三 (日 立)
- (7月6日 13:00~16:00) プロジェクトのリスクマネジメント (リスクとは, PMBOKの概要, システム開発における実際のリスク, ほか) 香村 求 (システム SWAT)

(敬称略)

●D. 情報通信プロトコル技術

(7月6日, 13日9:00~16:00)

- (7月6日 9:00~12:00) TCP/IPプロトコル (OSI参照モデル, IP, TCP) 加藤 聡彦 (電 通 大)
- (7月6日 13:00~16:00) LANのプロトコル (イーサネット, VLAN, 無線LAN) 奥野 通貴 (日 立)
- (7月13日 9:00~12:00) アプリケーション層プロトコル (DNS, HTTP, メール) 石井 秀治 (N I C T)
- (7月13日 13:00~16:00) モバイルネットワークのプロトコル (モバイルBB, IMS) 松本 徹也 (NTTドコモ)

(敬称略)

●F. 情報通信セキュリティ技術

6月8日から開講 (13:00~16:00)

1. セキュリティ概論 (セキュリティの必要性, セキュリティとプライバシー, ほか) 稲村 雄 (オメガセキュリティ)
2. モバイルセキュリティ技術 (携帯電話 (3G, LTE), 無線LAN, Mobile Wimax, ほか) 清本 晋作 (KDDI研)
3. インターネットのセキュリティ技術 (Radius, VPN (IPSec), SPF/SenderID, DNSsec, ほか) 吉田 徳太郎 (N T T)
4. サイバーセキュリティ (ネットワークアタックの概要 (CVEなど), ファイアウォール, ほか) 寺田 真敏 (日 立)
5. アプリケーションセキュリティ (暗号メール, Webセキュリティ, セキュアOS, 著作権管理技術, ほか) 小川 一人 (NHK技研)

—本 会 が 協 賛 等 の も の—

(※は参加費割引あり)

2013年度第1回ORセミナー「待ち行列チュートリアル」(※)

期 日 平成25年4月20日(土)
 会 場 構造計画研究所本所新館(東京都中野区)
 問合先 日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 福田
 TEL [03] 3851-6100, FAX [03] 3851-6055
 jimukyoku@orsj.or.jp http://www.orsj.or.jp/

トライボロジー会議2013春 東京(※)

期 日 平成25年5月20日(月)~22日(水)
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
 問合先 日本トライボロジー学会事務局
 TEL [03] 3434-1926, FAX [03] 3434-3556
 http://www.tribology.jp

第359回講習会「CAEのための材料力学—基本に立ち返ろう」(※)

期 日 平成25年5月31日(金)
 会 場 東京理科大学森戸記念館(東京都新宿区)
 問合先 精密工学会
 TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192
 http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html

Advanced Image Seminar 2013「ポストテレビ~未来の映像プラットフォーム~」(※)

期 日 平成25年6月3日(月)
 会 場 早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区)
 問合先 画像電子学会
 TEL [03] 5615-2893, FAX [03] 5615-2894
 kikaku@iieej.org
 http://iieej.org/trans/kenaf.htm

第23回電子顕微鏡大学(※)

期 日 平成25年6月13日(木), 14日(金)
 会 場 東京大学本郷キャンパス小柴ホール(東京都文京区)

問合先 日本顕微鏡学会 電子顕微鏡大学ヘルプデスク
 FAX [03] 5227-8632 jsm-denken@bunken.co.jp
 http://www.microscopy.or.jp/denken/index.html

第23回バイオメカニズムシンポジウム in 京都—人間の動きの分析×異分野融合×長文前刷・長時間討論—(※)

期 日 平成25年7月26日(金)~28日(日)
 会 場 ホテルピノ京都堀川(京都市)
 問合先 シンポジウム事務局(京都府立医科大学医学部看護学科) 山本容子, 室田昌子 sobim23@cymis.jp

国際セラミックス総合展2013

期 日 平成25年9月25日(水)~27日(金)
 会 場 東京ビッグサイト(東京都江東区)
 問合先 フジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)
 営業・事業本部 中村
 TEL [03] 3273-6180, FAX [03] 3241-4999

フォトニックセンシング最前線(※)

期 日 平成25年9月30日(月)
 会 場 東京大学本郷キャンパス武田ホール(東京都文京区)
 問合先 防衛大学校電気通信学群通信工学科 田中 哲
 TEL [046] 841-3810 内線3368, FAX [046] 844-5911
 satoshi@nda.ac.jp
 http://www.nakamura.pi.titech.ac.jp/OFSsymp2013/index.html

第34回バイオメカニズム学術講演会(SOBIM2013 in Tokorozawa)(※)

期 日 平成25年11月16日(土), 17日(日)
 会 場 国立障害者リハビリテーションセンター(所沢市)
 問合先 同学術講演会事務局 実行委員長 廣瀬秀行(国立障害者リハビリテーションセンター)
 hirose-hideyuki@rehab.go.jp

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



ICEP2013 (実装技術国際シンポジウム) (※)

期 日 2013年4月10日(水)~12日(金)
会 場 大阪国際会議場(大阪市)
問合先 エレクトロニクス実装学会事務局 金井, 乃万
TEL [03] 5310-2010, FAX [03] 5310-2011

APPC12 (第12回アジア太平洋物理会議)

期 日 2013年7月14日(日)~19日(金)
会 場 幕張メッセ国際会議場(千葉市)
問合先 APPC12事務局 永井
nagai@jps.or.jp
<http://www.jps.or.jp/APPC12/index.html>

ITU Kaleidoscope 2013—Building Sustainable Communities

期 日 2013年4月22日(月)~25日(木)
会 場 京都大学百周年時計台記念会館(京都市)
問合先 規格調査会・国際標準化教育検討委員会 荒木則幸
(NTTアクセスサービスシステム研究所)
TEL [029] 868-6365, FAX [029] 868-6126
araki.noriyuki@lab.ntt.co.jp
<http://www.itu.int/ITU-T/uni/kaleidoscope/2013/index.html>

2nd IEEE Global Conference on Consumer Electronics (IEEE GCCE2013)

期 日 2013年10月1日(火)~4日(金)
会 場 幕張メッセ国際会議場(千葉市)
問合先 榎川友宏(筑波大学学術情報メディアセンター)
support@ieee-gcce.org
<http://www.ieee-gcce.org/>
TEL [090] 8080-0990, FAX [029] 853-2983

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

——第 29 回村田学術振興財団研究助成——

助成対象 自然科学のうちエレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究

研究助成

- (1) 有意義な研究, 特に若手研究者で萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究に関する研究者または研究グループ
- (2) 助成金額は, 総額 1 億 3 千万円とし 1 件当たり 100 万円～300 万円で総計 74 件程度

研究会 (学会を含む) 助成

- (1) エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究会・学会
- (2) 助成金額は, 総額 1,400 万円とし 1 件当たり 30 万円～100 万円で総計 22 件程度

研究者の海外派遣援助

- (1) エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する海外での研究活動, あるいは海外で開催される国際会議, シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣. 平成 25 年 6 月～平成 26 年 6 月の間に出発予定の方
- (2) 助成金額は, 総額 1,200 万円とし 1 件当たり 20 万円～50 万円程度で渡航費及び滞費の一部を援助

応募締切日 平成 25 年 4 月 12 日 (金) 必着

問合せ先 村田学術振興財団

TEL [075] 953-2580, FAX [075] 955-6526
zaidan@murata.co.jp
<http://www.murata.co.jp/zaidan/index.html>

——第 10 回 (平成 25 年度) 日本学術振興会賞——

対象分野 人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

対象者 国内外の学術誌等に公表された論文, 著書, その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち, 平成 25 年 4 月 1 日現在以下の条件を満たす者.

1. 45 歳未満であること
2. 博士の学位を取得していること (博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む.)
3. 外国人の場合は推薦時点において我が国で 5 年以上研究者として大学等研究機関に所属しており, 今後も継続して我が国で研究活動を予定していること

授賞 授賞数は 25 件程度. 受賞者には, 副賞として研究奨励金 110 万円を贈呈.

受付期間 平成 25 年 4 月 15 日 (月)～17 日 (水) (必着)

問合せ先 日本学術振興会研究者養成課「日本学術振興会賞」担当
TEL [03] 3263-0912, FAX [03] 3222-1986
<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

——第 12 回ドコモ・モバイル・サイエンス賞——

趣 旨 情報化社会における情報通信・移動通信技術の発展とともに豊かで健全な社会を実現するためと若手研究者の育成を目的とするものです.

募集内容

- (1) 「先端技術部門」 広い意味での移動通信に関連した先端技術において, 優れた研究開発, 成果発表により, 移動通信分野の発展に貢献しつつあるもの, またはその成果が高く評価できるもの.
- (2) 「基礎科学部門」 広い意味での移動通信に関連した基礎科学において, 優れた研究開発, 成果発表により, 基礎科学の振興, 移動通信分野の発展に貢献しつつあるもの, またはその成果が高く評価できるもの.
- (3) 「社会科学部門」 広い意味での情報通信に関連するテーマについて, 独自の調査や経験的データを踏まえ, 明確な概念枠組みや理論的立場を明示して, 実証的に分析したもの, またはこれに関連して社会貢献に寄与するもの.

応募資格

- (1) 公的・私的研究機関 (大学等) において, 上記テーマに関する研究に従事する方
- (2) 満 50 歳未満の方 (1964 年以降の生れ)
- (3) 個人またはグループ. ただし, NTT 及び NTT グループ社員を除く.

推薦方法 国内の大学, 公的研究機関あるいは関係学会, 協会に所属されている方による推薦 (推薦にあたっては応募資格を満たしている研究者であれば, 複数名の推薦も可能)

応募締切 平成 25 年 5 月 31 日 (金) 必着

賞 金 各部門: 優秀賞 600 万円/件

問合せ先 ドコモ・モバイル・サイエンス賞運営事務局 (NTT-AT アイピーエス内) 担当 田中
TEL [0422] 70-6627, FAX [0422] 70-5222
info@ips.ntt-at.co.jp <http://www.mcfund.or.jp/>

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL〔03〕3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●神奈川工科大学

公募人員 基礎・教養教育センター 准教授1名

担当科目 力学, 電磁気学, 物理学実験などの物理系科目

応募資格 博士号取得者(取得見込みを含む)

任 期 5年, ただし, 任期の更新または任期の定めのない教員への変更があり得る

着任時期 平成25年9月

応募締切 平成25年4月30日(火)必着

問合先 基礎・教養教育センター物理系列 万代敏夫

TEL〔046〕291-3076, bandai@gen.kanagawa-it.ac.jp

詳 細 <http://www.kait.jp/recruit/>

●九州大学

公募人員 助教1名(任期なし)

所 属 大学院システム情報科学研究院情報知能工学部門

専 門 ユビキタスコンピューティング/組込みシステム・ソフトウェア

応募資格 着任時に博士の学位を有し, 上記分野の研究及び教育に熱意を有する方

着任時期 平成25年8月1日以降のできる限り早い時期

応募締切 平成25年4月30日(火)必着

問合先 情報知能工学部門教授 福田 晃

詳 細 <http://portal.isee.kyushu-u.ac.jp/education/recruit.html>

●広島工業大学

公募人員 電気システム工学科 教授, 准教授または助教1名

専門分野 電気エネルギー工学, 電気機器に関する分野

応募資格 ①本学の教育方針を理解し, 教育及び研究に熱意のある方, ②博士の学位を有する方, ③専門分野における研究業績があり, 学協会活動や社会貢献をされている方, ④大学院博士前期課程の授業及び研究指導を担当できる方

応募締切 平成25年4月30日(火)必着厳守

問合先 総務部 中畑佳二, TEL〔082〕921-3123

詳 細 本学園HP <http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/>

●早稲田大学

公募人員 理工学術院(電気・情報生命工学科, 電気・情報生命専攻)専任講師または准教授1名

専門分野 信号処理/機械学習の基礎とその応用に関する分野

担当講義 回路理論及び自身の専門に関する科目

応募資格 博士の学位を有すること

着任時期 平成26年4月以降できるだけ早い時期

応募締切 平成25年5月13日(月)必着

問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和

TEL〔03〕5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp

詳 細 <http://www.eb.waseda.ac.jp>

●埼玉工業大学

公募人員 工学部情報システム学科 専任講師1名

専門分野 電気機器, 電動機応用, 電気自動車, 電力工学, スマートグリッド, パワーエレクトロニクスなど

着任時期 平成25年10月1日以降できるだけ早い時期

応募締切 平成25年5月20日(月)必着

問合先 情報システム学科教授 吉澤浩和

yoshiz_h@sit.ac.jp

●福岡工業大学

公募人員 准教授または助教 いずれか1名

所 属 情報工学部情報システム工学科

専門分野 システム工学分野(制御工学, パワエレ, EV等)

応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方

着任時期 平成25年10月1日

応募締切 平成25年5月24日(金)必着

問合先 情報工学部情報システム工学科教授 吉田耕一

TEL〔092〕606-4991(ダイヤルイン)

FAX〔092〕606-0754(学科事務室)

k-yoshida@fit.ac.jp

●静岡大学

公募人員 工学部電気電子工学科 准教授1名

専門分野 ハードウェアを中心とした計測分野(物性, 材料を除く, 電気・電子回路など回路系講義のできる方)

応募資格 博士の学位を有し, 大学院まで担当可能な方(平成25年度から教員は大学院所属となる予定)

着任時期 平成25年10月1日以降のできる限り早い時期

応募締切 平成25年5月31日(金)必着

問合先 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部 中井孝芳

TEL〔053〕478-1116, tdnaka@ipc.shizuoka.ac.jp

詳 細 <http://www.eng.shizuoka.ac.jp/researches/p05/>

●大阪大学

公募人員 産業科学研究所 教授1名

専門分野 先端ハード材料研究分野

応募締切 平成25年6月15日(土)必着

問合先 〒567-0047 茨木市美穂が丘8-1

大阪大学産業科学研究所先端ハード材料研究分野

教授選考委員会委員長 菅沼克昭

TEL〔06〕6879-8520, FAX〔06〕6879-8522

suganuma@sanken.osaka-u.ac.jp

詳 細 http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/jp/public/public_teacher.html

●北見工業大学

公募人員 工学部電気電子工学科 教授または准教授1名

専門分野 電気電子応用工学(計測工学, 制御工学, システム工学等)

応募資格 博士の学位を有する方

着任時期 平成25年10月1日

応募締切 平成25年6月21日(金)当日消印有効

問合先 電気電子工学科長 谷本 洋

TEL [0157] 26-9278, htanimot@mail.kitami-it.ac.jp
 詳細 <http://www.kitami-it.ac.jp/kenkyusya.html>

●秋田工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 助教1名
 専門分野 電力・電気機器系
 担当科目 電力系と組込み系科目ほか、電気情報工学実験、基礎研究、卒業研究、特別研究等
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成25年9月1日
 応募締切 平成25年6月28日(金) 必着
 問合せ先 電気情報工学科 駒木根隆士
 TEL [018] 847-6052, komakine@akita-nct.jp
 詳細 <http://akita-nct.jp>

●弘前大学

公募人員 理工学研究科(理工学部電子情報工学科併任)教授1名
 専門分野 コンピュータアーキテクチャまたは関連分野(コンピュータテイングシステム, プロセッサアーキテクチャ, マルチコア・メニーコア技術, OS, コンパイラなど)
 応募資格 博士の学位を有し, 学部・大学院が担当できる方
 着任時期 平成25年12月上旬以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年6月28日(金) 必着
 問合せ先 理工学研究科 斎藤 稔, TEL [0172] 39-3656
 msaito@eit.hirosaki-u.ac.jp
 詳細 <http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 6月号掲載分 平成25年4月18日(木) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

電子情報通信学会 編

現代電子情報
通信選書

《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

今、注目の新しいエネルギー源！

『宇宙太陽発電』

【監修】篠原真毅(京都大学) ○定価3990円(本体3800円+税) / A5判・312頁

本書は、宇宙太陽発電について、全体を俯瞰できるような概要から実現のための要素技術、システムまでを丁寧に解説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図などを多く掲載しました。

◎このような方におすすめ

- 宇宙太陽発電に興味を持ち、その分野の専門家を目指す学生
- 宇宙産業や太陽発電、マイクロ波伝送技術に携わる研究者や実務者

◆目次◆

宇宙太陽発電 / 宇宙太陽発電のためのマイクロ波無線電力伝送技術 / 地上受電システム / マイクロ波無線電力伝送の地上応用 / SPS無線送電の影響



発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>

——電子情報通信学会創立記念日と事務について——

本会は大正6年5月に創立され、来る5月1日で第96回目の創立記念日を迎えます。よって当日は事務を休業致しますので御承知置き下さい。また、この頃は休日が多くなりますため、事務の取扱いにおいて御迷惑をおかけする場合がありますが、御了承下さい。

——平成25年度会費お払込みのお願い——

平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを12月初旬にお願いしましたが、1月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、今回は2月中旬に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年5月末日までにお支払いの確認がとれない場合は7月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成25年4月末にお送りする予定です。

——転勤・転居及び学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。毎月1日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいますようお願い致します。

また、4月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——第21回衛星設計コンテスト——

本コンテストは、全国の大学院、大学及び高等専門学校の学生及び高校生の生徒を対象としており、宇宙に係わる基礎・応用研究を積極化する機会を提供し、併せて我が国宇宙開発の裾野の拡大に寄与しようとするものです。学生の自由な発想による小型衛星をはじめとする様々な宇宙ミッションのコンセプト、アイデア、設計構想等を全国から募集し、審査の上優秀な作品を寄せたグループ〔または個人〕を表彰します。

募集区分 「設計の部」、「アイデアの部」及び「ジュニアの部」
設計条件、提出資料等応募方法の詳細については、衛星設計コンテスト公式 HP (<http://www.satcon.jp/>) で御確認下さい。

参加登録受付 平成25年4月1日～5月31日（金）

最終審査会 平成25年11月（予定）、会場調整中

参加登録料 3,000円

問合先 日本宇宙フォーラム 衛星設計コンテスト事務局

TEL [03] 6206-4902, FAX [03] 5296-7010

satcon21@jsforum.or.jp

主 催 電子情報通信学会、日本機械学会、日本航空宇宙学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本天文学会、宇宙航空研究開発機構、宇宙科学振興会、日本宇宙フォーラム

後 援 文部科学省、総務省（予定）

——平成25年4月号及び5月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

4月号 [和文] ビックデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集

5月号 [英文] Networked Control Systems: Theories & Applications

（通信ソサイエティ）

4月号 [和文] 多様化する電磁環境における EMC 対策設計・評価技術特集

（エレクトロニクスソサイエティ）

4月号 [英文] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit, Device and Design Methodology

5月号 [英文] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices

（情報・システムソサイエティ）

4月号 [和文] 医用画像特集

4月号 [英文] Medical Imaging

5月号 [和文] データ工学と情報マネジメント特集

5月号 [英文] Data Engineering and Information Management

—Special Section on Recent Progress
in Verified Numerical Computations—

We are pleased to announce the special section of IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE" to be published in January 2014. The major part of this issue will consist of the special section focusing on recent progress in the field of verified numerical computations. The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to, the following areas:

- Computer-assisted proofs for nonlinear problems using verified numerical computations
- Verified numerical linear algebra as the base of treating nonlinear problems
- Verified numerical computations for dynamical systems
- Mathematics for verified numerical computations
- Applications of verified numerical computations in science and engineering

The submitted papers will be handled by the Editorial Committee of the Special Section, and peer-reviewed by anonymous referees. The deadline of the paper submission is April 15, 2013. Prospective authors are requested to follow carefully the submission process described below:

1. Submit a paper using the IEICE Web site (https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx).

Authors should choose "[Special-EN] Verified Numerical Computations" as a "Type of Issue (Section)/Transactions" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".

2. Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address:

Kenta KOBAYASHI, Graduate School of Commerce and Management, Hitotsubashi University
2-1 Naka, Kunitachi, Tokyo 186-8601, Japan
E-mail: kenta.k@r.hit-u.ac.jp

FAX: +81-42-580-8747 (please attach a cover sheet indicating "From YOUR NAME" as the sender together with "To Prof. Kenta Kobayashi" as the receiver.)

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by April 15, 2013. We cannot start the review process without them, even if we receive the manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following web site:

<http://www.nolta.ieice.org/authors.html>

Please note that if the paper is accepted, then the authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications. The article charges cannot be waived.

The article charges until 30 pages:

One of the authors is a member of IEICE: 60,000 JPY
Otherwise: 65,000 JPY

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit

manuscript. However, we recommend that the authors unaffiliated with IEICE apply for membership: <http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

Guest Editors

Nobito YAMAMOTO (The University of Electro-Communications), Takeshi OGITA (Tokyo Woman's Christian University)

Guest Associate Editors

Stef GRAILLAT (Pierre and Marie Curie University), Kaori NAGATO-PLUM (Karlsruhe Institute of Technology), Katsuhisa OZAKI (Shibaura Institute of Technology), Yoshitaka WATANABE (Kyushu University)

Secretaries of the Special Section

Takashi HISAKADO (Kyoto University), Kenta KOBAYASHI (Hitotsubashi University)

—音響学の発展を支える信号処理技術小特集
(和文論文誌 A) 論文募集—

音響学の発展を支える信号処理技術小特集編集委員会

音響学は、ピタゴラスやガリレオの時代から脈々と続く古典的な学問でありながら、それぞれの時代で発明された様々な科学技術を積極的に取り入れつつ、発展を続けています。近年は、情報処理技術と結び付くことにより、携帯形の小形情報端末での音響インタフェースから超臨場感通信まで、幅広く研究開発が進められています。本小特集(平成26年4月号)では、音響学の発展に欠くことができず、また新たな学際的分野をひらくための基盤となり得る音響信号処理技術に関連する論文を幅広く募集致します。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

音響信号処理に関連する論文を募集致します。下記の代表的分野に限定せず、他分野との境界領域テーマも含めて、幅広いテーマの論文を募集致します。

- 音響信号解析・分析
- 音響収音・記録・再生
- 立体音響, 空間音響 (HRTF 関連分野も含む)
- 音響信号符号化
- 音源分離, 音響信号強調, 音源方向推定
- 音響信号品質評価

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは標準2ページ最大4ページとします。4ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html)を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文の投稿

投稿は原則、電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6692 E-mail: wabun-a@ieice.org

4. 論文投稿締切日 平成25年7月12日(金)必着
投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

5. 問合せ先

水町光徳 九州工業大学大学院工学研究院電気電子工学専攻
E-mail: mizumach@ecs.kyutech.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 安藤彰男 (NHK)
編集幹事 荻木禎史 (熊本大), 水町光徳 (九工大)
編集委員 岩谷幸雄 (東北学院大), 小澤賢司 (山梨大), 鎌本優 (NTT), 猿渡 洋 (奈良先端大), 澤田 宏 (NTT), 杉本岳大 (NHK), 中迫 昇 (近畿大), 中山雅人 (立命館大), 西村竜一 (NICT)

——ISMICT2013 関連医療・ヘルスケアにおける
情報通信技術小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

医療・ヘルスケアにおける情報通信技術
小特集編集委員会

高齢化社会が進む現在、医療・ヘルスケア分野における情報通信技術がますます注目されており、近年、多くの研究開発が盛んに行われてきています。IEEE802.15 TG6においては、ボディエリアネットワークのための標準規格が2012年2月に正式に成立されており、実用化に向けた本格的な研究・開発が始まっています。本小特集では、2013年3月に東京で開催される医療情報通信における国際シンポジウム (International Symposium on Medical Information and Communication Technology; ISMICT2013) の主なトピックに関連して、情報通信技術の観点から医療・ヘルスケアにおける情報通信技術の最新研究開発成果を幅広く募集します。現状の業界における最新動向の把握と、今後の医療・ヘルスケアにおける情報通信技術に関する研究開発を一層促進するために、本小特集 (2014年3月号掲載) を企画致します。

ISMICT2013の採択論文はIEEEが著作権を持つため、ISMICT2013の採択論文に関連する内容の論文を本小特集に投稿する際は、著作権問題が起きないように御配慮下さい (Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) も御参照下さい)。なお、本小特集で採択された論文は、IEICE Transactions Onlineに掲載されますが、IEEE Xploreには掲載されません。

1. 対象分野

医療・ヘルスケアにおける情報通信技術に関する以下の分野を対象とします。

- ・ボディエリアネットワーク技術; PHY, MAC
- ・医療用センサネットワーク, マルチホップ, リレー, 協力伝送技術
- ・高信頼性技術
- ・ウェアラブル及びインプラントデバイス技術
- ・人体通信 (HBC)
- ・E-Health システムと医療情報データ収集
- ・ヘルスケアリモートモニタリング及び無線遠隔医療サービス
- ・ヘルスケアサービスのためのクラウドコンピューティング技術及びネットワーク技術

論文特集原稿募集

- ・BANにおけるアンテナ・電波伝搬技術
- ・測位・測距技術など

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間 (通常は60日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Category of Transactions" で [Special-EB] Information and Communication Technology for Medical and Healthcare Applications in Conjunction with Main Topics of ISMICT2013 を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成25年7月1日(月)必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

金ミンソク (東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-S6-4
TEL [03] 5734-3633, FAX [03] 5734-3288
E-mail: mskim@ide.titech.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 井家上哲史 (明大)
幹事 金ミンソク (東工大)
委員 原 晋介 (阪市大), 王 建青 (名工大), 杉町 勝 (国立循環器病研究センター), 高玉圭樹 (電通大), 井田一郎 (富士通研), 小川晃一 (富山大), Ilango Balasingham (Norwegian Univ. Sci. Tech.), Matti Hämäläinen (Oulu Univ.), Yongmei Sun (BUPT), 冀輪 正 (NICT)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷50部含む) が必要となります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——超伝導大規模集積回路の最前線小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

超伝導大規模集積回路の最前線小特集編集委員会

昨年超伝導発見 100 周年を、更にはジョセフソン効果の提案から 50 年以上を経てこの量子現象は身近なものとなっています。これまで単一磁束量子を核とした様々なアプリケーションが提案され、1 万接合を超える大規模集積回路による各種信号処理用マイクロチップも構成されています。しかし実用化という観点からは今一歩という感じは拭えません。シリコンデバイスの頭打ち感も最終段階になりつつあるこの時期こそ、超伝導大規模集積回路が実用化という点で飛躍する可能性が高まっていると判断して、その最前線と題する小特集(平成 26 年 3 月号)「超伝導大規模集積回路の最前線」を企画致しました。本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

超伝導集積回路に関わる研究分野からの論文を募集します。超伝導集積回路作製プロセスに必要な超伝導薄膜やデバイス作製、回路設計技術等の分野も包含します。また、デジタル回路のみならず、アレー検出器や SQUID などのアナログ回路も対象とし、それらの信号処理回路を含めたシステム化技術なども投稿可能です。

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内(厳守)とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で、“[Special-EC] The front line of Superconducting VLSI”を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement; <http://www.elex.ieice.org/data/copyrightform.pdf>) と仮登録確認用紙(Confirmation Sheet of Manuscript Registration; https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) を下記まで電子メール添付(推奨)・FAX・郵便のいずれかの方法で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 6 月 30 日(日) 必着

5. 問合せ先及び著作権譲渡書送り先

小野美 武 東北大学電気通信研究所
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
TEL [022] 217-5560, FAX [022] 217-5561
E-mail: onomi@riec.tohoku.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 中島康治(東北大)
幹事 小野美 武(東北大)
委員 吉川信行(横浜国大), 明連広昭(埼玉大), 水柿義直(電通大), 佐藤茂雄(東北大), 山田隆宏(産総研), 猪俣邦宏(理研)

7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

*招待論文を含め論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——集積回路設計技術に関する小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

集積回路設計技術に関する小特集編集委員会

CMOS デバイスの微細化はとどまるところを知らず、現在ナノメートル領域に向かって着実に進行し続けています。その結果、VLSI チップの集積度は指数関数的に増大し、今や 1 チップに 100 億個といった脳の神経細胞数にも匹敵する膨大な数のトランジスタが集積可能になってきております。これにより新たなアプリケーションや情報処理の開拓が期待されます。一方で、漏れ電流やばらつきの問題も顕在化しており、新たな回路技術や設計技術への要求が高まっています。SoC への SRAM やアナログ回路の搭載は一般化し、低電圧動作するメモリや CMOS アナログ回路技術も待望されています。このような背景の下、VLSI の発展に寄与するためには、新しいアプリケーションやアーキテクチャ、更に先進の回路・設計技術が重要となります。そこで、関連の研究成果を発掘することを目的として、集積回路設計技術に関する小特集(平成 26 年 4 月号)を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

・VLSI アーキテクチャ・三次元チップ・SoC・メモリ回路・デジタル回路・インタフェース回路・アナログ回路・低消費電力技術・設計技術・実装技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー: 8 ページ、ブリーフペーパー: 4 ページ以内(厳守)とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で “[Special-EC] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit, Device and Design Methodology”を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙(Confirmation

Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨), FAX または郵送で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 7 月 20 日 (土) 必着

5. 郵送先及び問合せ先

宮野信治 (株)東芝半導体システム技術センター先端ワイヤレス・アナログ技術開発部
〒212-8520 川崎市幸区堀川町 580-1
TEL [044] 548-2341, FAX [045] 548-8324
E-mail: shinji.miyano@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 山村 毅 (富士通研)
幹事 宮野信治 (東芝)
委員 飯塚哲也 (東大), 江川隆輔 (東北大), 大畠賢一 (鹿児島大), 岡田健一 (東工大), 北川明弘 (ルネサス), 小泉 弘 (NTT), 柴田貴行 (デンソー), 玉井幸夫 (シャープ), 鳥居 淳 (トプスシステムズ), 中武繁寿 (北九州市大), 藤本竜一 (東芝), 榎井昇一 (富士通研), 三浦典之 (神戸大), 宮崎昭彦 (NTT), 宮地幸祐 (中大), 吉村隆治 (日本 TI)

7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

- * 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——知能ソフトウェア工学小特集

(英文論文誌 D) 論文募集——

知能ソフトウェア工学小特集編集委員会

最近のコンピュータネットワークの急速な発展に伴い、人間社会における情報システムの構築を支えるソフトウェア工学が果たす役割はますます重要になっています。また、人間の知的活動を研究する人工知能のアプローチとともに、様々な分野における実用的な研究が盛んになってきています。知能ソフトウェア工学研究会は、人工知能、知識工学、ソフトウェア工学に関する話題を中心に 20 年にわたり、人間の知的活動を支える情報システムの開発に関する実用的な研究を行ってきております。

このような中で 2012 年 8 月 23 日から 26 日、ギリシャのロードス島において JCKBSE2012 (Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering 2012) が開催されました。本小規模国際会議では、厳正な査読の結果、日本、ギリシャ、ポーランドから 35 編の論文が採択されました。

本英文小特集では、本国際会議において発表された論文を、更に発展させて投稿する論文と、通常の公募論文とを併せて募集し、厳正な査読の上で英文誌の論文小特集とすることを企画しました。発行は平成 26 年 5 月号を予定しています。

1. 対象分野

- Knowledge technologies for semantic web

- Ontology engineering
- Ontologies and patterns in UML modelling
- Knowledge technologies for service-oriented systems, Internet of services and Internet of things
- Architecture of knowledge-based systems, including intelligent agents and softbots
- Knowledge-based requirements engineering, domain analysis and modelling
- Knowledge engineering for process management and project management
- Intelligent user interfaces and human-machine interaction
- Methodology and tools for knowledge discovery and data mining
- Automating software design and synthesis
- Automating composition of components and services, methods to predict the properties of composites
- Knowledge-based methods and tools for testing, verification and validation, maintenance and evolution
- Decision support methods for software engineering
- Knowledge management for business processes, workflows and enterprise modelling
- Program understanding, programming knowledge, modeling programs and programmers
- Knowledge-based methods and tools for software engineering education
- Knowledge-based methods for software metrics

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とします。詳細については英文論文誌に掲載の information for authors (<http://www.ieice.org/eng/shiori/>) を御参照下さい。

投稿は、本会電子投稿システム https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx による電子投稿のみとします。なお登録時には必ず「Type of Issue(Section)/Transactions」で「Special-ED」Knowledge-Based Software Engineering を選択して下さい。[Regular-ED]や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録用紙と著作権譲渡承諾書を下記問合せ先へ平成 25 年 6 月 7 日 (金) までにお送り下さい。スキャン PDF, FAX, 郵送のいずれも結構です。

- 刷り上がり 8 ページ以内とします。規定枚数を超えた場合は、掲載料が累進的にかかります。
- 査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。
- 採択論文が予定件数を超えた場合は、一般論文として掲載する場合があります。
- 採択が決まった論文等の著者 (招待論文を含む) には、最終原稿の提出方法に応じて掲載別刷代が必要となります。この掲載別刷代には、別刷 50 部が含まれています。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 6 月 7 日 (金) 必着

4. 問合せ先

梶野文洋 日本工業大学工学部情報工学科
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
TEL [0480] 33-7482, FAX [0480] 33-7461
E-mail: kbse-issue@nii.ac.jp

5. 小特集編集委員会

委員長 松浦佐江子 (芝浦工大)
幹事 飯島 正 (慶大), 梶野文洋 (日本工大), 竹内広宣 (日本 IBM)
委員 井垣 宏 (阪大), 大西 淳 (立命館大), 小野康一

(日本IBM), 海尻賢二(信州大), 金井 敦(法政大), 金田重郎(同志社大), 神戸雅一(NTT データ), 白銀純子(東京女子大), 中谷多哉子(筑波大), 中村太一(東京工科大), 芳賀博英(同志社大), 樋山淳雄(東京学芸大), 深澤良彰(早大), 福田直樹(静岡大), 村川猛彦(和歌山大), 山本修一郎(名大), 鷲崎弘宜(早大)

6. 重要なお知らせ

投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会員でなければなりません。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい：<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——データ工学と情報マネジメント特集

(和文論文誌 D) 論文募集——

データ工学と情報マネジメント特集編集委員会

データベース技術に代表されるデータ工学の分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われています。本会データ工学研究専門委員会が共催しておりますデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM フォーラム)では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています。これを踏まえ、昨年に引き続き情報・システムソサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント特集」(平成26年4月号)を企画致しました。DEIM フォーラムで発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これに限らず広くデータ工学と情報マネジメントに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い致します。

- ・ファイル編成, ストレージ技術
- ・データ構造, インデックス
- ・問合せ処理, 問合せ言語
- ・トランザクション処理, 障害回復
- ・データモデル・データモデリング
- ・並列・分散データベース
- ・空間・時空間データベース, モバイルデータベース
- ・マルチメディアデータベース, テキストデータベース, 時系列データベース
- ・ネットワークとデータ工学, 分散・ユビキタスコンピューティングとデータ工学
- ・クラウドソーシングとデータ工学
- ・データマイニング
- ・XML, 半構造データ
- ・Web 情報システム, Web コンテンツ技術, メタデータ, セマンティック Web
- ・ブログ・ソーシャルネットワーク, クラウドコンピューティング
- ・情報検索・推薦, パーソナライゼーション
- ・コンテンツ管理・流通, 通信放送融合, デジタルアーカイブ
- ・情報の統合・管理, データウェアハウス, OLAP

- ・地理情報システム, 医療・生体情報システム, サイエンティフィックデータベース
- ・ビジネス情報マネジメント
- ・社会・教育と情報マネジメント

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。
詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

4. 投稿締切日 平成25年7月1日(月) 厳守

5. 特集編集委員会

- 委員長 森嶋厚行(筑波大)
幹事 中島伸介(京都産大), 鈴木伸崇(筑波大), 天竺俊之(筑波大)
委員 牛尾剛聡(九大), 大島裕明(京大), 太田 学(岡山大), 小山 聡(北大), 片山 薫(首都大東京), 河合由起子(京都産大), 熊本忠彦(千葉工大), 櫻井保志(NTT), 鈴木 優(名大), 田島敬史(京大), 戸田浩之(NTT), 豊田正史(東大), 橋本隆子(千葉商科大), 藤原靖宏(NTT), 義久智樹(阪大), 渡辺知恵美(お茶の水女子大)

6. 問合せ先

中島伸介 京都産業大学コンピュータ理工学部ネットワークメディア学科
E-mail: nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp
鈴木伸崇 筑波大学図書館情報メディア系
E-mail: nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp

——データ工学と情報マネジメント小特集

(英文論文誌 D) 論文募集——

データ工学と情報マネジメント小特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の2014年4月号において、データ工学と情報マネジメント小特集(Special Section on Data Engineering and Information Management)を掲載致します。本小特集は、データ工学に関連する幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集し、特にビッグデータに関するトピックの論文を推奨致します。

1. 対象分野

データ工学とその関連分野の理論並びに実践に関する論文を広く募集致します。対象となる分野は以下のとおりですが、これに限定せずデータ工学に関連するものであれば広く歓迎します。

- ・コア技術：ファイル編成，ストレージ，問合せ処理，問合せ言語，トランザクション処理，索引，ストリーム処理，セキュリティとプライバシー
- ・データベース：クラウドコンピューティング，分散・並列データベース，マルチメディアデータベース，時間・空間データベース，モバイルデータベース，科学データベース，XML・半構造データベース，グラフ管理，ソーシャルネットワーク，センサデータベース，P2P・グリッド上のデータ管理，情報統合，確率的データベース，クラウドソーシング
- ・情報検索：情報抽出，情報要約，情報推薦
- ・データマイニング：データウェアハウス，OLAP，データマイニングアルゴリズム，テキストマイニング，Webマイニング
- ・Web技術：Web検索エンジン，コンテンツ，メタデータ，セマンティックWeb，Webサービス
- ・応用分野：電子商取引，e-ラーニング，デジタルライブラリ，アーカイブ，情報・データ放送，可視化，ユーザインタフェース

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては，“The Information for Authors” (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御一読の上，本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/index-e.html>) にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は，PAPERで8ページ，LETTERで2ページとなります。
- ・投稿原稿の御提出は，本会のWebサイト (https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) を通じてお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受付できません。御投稿の際は，投稿フォームの“Type of Issue (Section)/Transactions”の項目にて，“[Special-ED] Data Engineer-

ing and Information Management” をお選び下さい。

- ・原稿御提出後一週間以内に，“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”と“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”を下記，編集幹事まで，電子メール添付，FAX，郵送のいずれかの方法でお送り下さい。

【送付先】

鬼塚 真 NTTソフトウェアイノベーションセンタ
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-2820, FAX [0422] 59-2965
E-mail : onizuka.makoto@lab.ntt.co.jp,

3. 原稿提出締切日 2013年7月1日(月)

4. その他注意事項

- ・論文が採録となった場合，掲載料（論文別刷代金を含む）をお支払い頂くことになります。
- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は，通常の60日より短縮される場合があります。
- ・投稿に際し，著者のうち少なくとも1名は，本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

5. 小特集編集委員会

編集委員長（ゲストエディタ） 森嶋厚行（筑波大）
編集幹事 中野美由紀（東大），鬼塚 真（NTT）
編集委員 天笠俊之（筑波大），橋本隆子（千葉商科大），Seung-won Hwang（POSTECH），片山 薫（首都大東京），河合由起子（京都産大），鈴木伸崇（筑波大），鈴木 優（名大），田島敬史（京大），Junichi Tatemura（NEC, USA），豊田正史（東大），Jeffrey Xu Yu（Chinese University of Hong Kong），Xiaofang Zhou（Queens University, Australia）

- ◎お問合せ等は編集幹事まで，可能な限り電子メールにてお願い致します。（件名に「IEICE（DE2014）」とお書き下さい。）

電子情報通信学会 編

現代電子情報
通信選書

《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

エコ時代に必須となる電磁ノイズ対策のすべて！

『電子システムの電磁ノイズ—評価と対策—』

【監修】井上 浩（秋田大学） ○定価3570円(本体3400円+税) / A5判・240頁

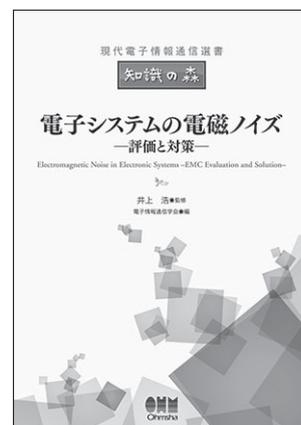
本書は、電磁ノイズ対策について、全体を俯瞰できるような概要から理論、材料、設計技術、評価まで、現場での対策ができるよう丁寧に解説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図や具体例を多く掲載しました。

◎このような方におすすめ

- ・電子システムなどのノイズ対策に興味を持っている技術者・研究者
- ・EMC関連に携わる実務者
- ・電気・電子工学関連の学生

◆目次◆

電子システムを取り巻く電磁環境／電磁波ノイズ発生と伝搬の基礎理論／システムと回路の電磁環境設計／放電と電磁ノイズ／電磁環境用材料の設計と評価手法／電磁ノイズの計測と評価



発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>



通信ソサイエティマガジン B-plus 年間購読申込用紙

(25号~28号)

今後の特集号予定

- 25号 無線技術でスマートな社会を実現する
- 26号 こんなところにもICT
- 27号 クラウドはモバイルと連携できるか
- 28号 子どもに教えるサイエンス

※特集号名は変更になる場合があります。



申込および支払方法

通信ソサイエティマガジンでは、年間購読を受け付けております。年間購読を御希望の方は、本用紙に必要事項を記入の上、下記までファクシミリ若しくは電子メールの添付ファイル(PDF)にて学会事務局まで御送付下さい。請求書同封で冊子をお送り致します。お支払いは同封の請求書にてお願い致します。

通信ソサイエティマガジンの年間購読(4冊/年):3,600円

申込者氏名	
見積書日付 年 月 日	請求書日付 年 月 日
納品書日付 年 月 日	
請求書宛名	
送付先 〒 (部課名, 研究室名まで御記入下さい)	
電話番号	電子メール
事務局への通信欄	

※購読を開始されましたら、文書による中止届出がない限り、次年度以降も自動的に継続されますの御注意下さい。

申込書送付先 連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
(社)電子情報通信学会 編集出版部 通信ソサイエティマガジン担当
電話:03-3433-6692 E-mail:b-plus@ieice.org

FAX 03-3433-6616

IEICE Communications Express (ComEX)

投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- Webを用いた論文公開により世界中の読者へ発信可能
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能
- 迅速な論文公開(目標:投稿受付から約1ヵ月での掲載)

2013年5月31日までに投稿されますと**掲載料が半額になるキャンペーン**を実施しております。この機会に、是非、速報性の高いComEXへの論文投稿を御検討下さい。

- 対象分野
基礎、光、ネットワーク、無線、無線システム、マルチメディアシステムなど、通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は、下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

- 問合せ先
一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2012年10月1日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)
編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)
編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機),
関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大),
長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大),
藤元美俊(福井大), 松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT),
Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):
青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタIT開発センター), 酒井善則(放送大),
吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):
Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)

会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」好評発売中 ——創刊号から平成 19 年 12 月号までの記事を集約——

平成 17 年 2 月に販売した会誌 DVD に引き続き、現在会誌 DVD 第 2 版を好評発売中です。

今回の DVD は、前回のものから平成 17 年 1 月号以降の 3 年間分を追加した「創刊号から平成 19 年 12 月号までの会誌記事」と本会の「50 年史」、「75 年史」を DVD 2 枚組みにして収録し、1976 年以降のものは全文検索ができます。

期間限定の割引価格にて販売しておりますので、この機会にぜひお申し込み頂きたく御案内申し上げます。
なお、前回の DVD を御購入頂いている会員の方には、特別価格で販売しておりますのでお申し出下さい。

◎ 期間限定割引価格

個人会員	10,000 円 (定価 12,000 円)
個人非会員	30,000 円 (定価 50,000 円)
企業・図書館等	50,000 円 (定価 80,000 円)

下記の申込書をコピーの上、郵送またはファクシミリにて本会宛お送り下さい。



..... キ リ ト リ

会誌 DVD 第 2 版購入申込書 (この用紙をコピーの上、郵送または FAX して下さい。)

※ FAX の誤送信に御注意下さい。

- (1) 会誌 DVD 第 2 版 (DVD 2 枚組み) _____ 組を申し込みます。
- (2) 必要書類
・本会書式の請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通が必要
(書類は現品に同封してお送り致します)
・請求関係書類の記載名義 _____
- (3) 該当箇所の にチェックして下さい。
 個人会員 (会員番号 _____) 個人非会員 企業・図書館等
- (4) 送付先 ・住 所 _____

* 部課名, 研究室名, アパート名等まで御記入願います。
・氏 名 _____
- (5) 連絡先 TEL : _____ E-mail : _____

申込み先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会会員サービス部会員課
FAX [03] 3433-6659 TEL [03] 3433-6691 E-mail : kaiin@ieice.org